

2009年度 大学院生の研究活動記録

行動学系	在籍者 65名	回答者 59名	研究成果 有 48名 無 11名	成果有の人数(%) 81%
	回答者率	91%		

注

1. 先端人間科学講座所属生は、指導教員の関連学系に含める。
2. 研究生も含める。
3. 記載の仕方は院生の提出したものによる。
4. 論文の審査有無は、自己申告による。

1	指導教員	森川 和則	副指導教員	苧阪 満里子	
	氏名	富田 瑛智	研究分野名	基礎心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	報告書 (大学)	新型基礎セミナーへのTAとしての 関わりと発見	富田瑛智	2009年4月13日	学生参画型共通教育改善に向けて 大阪大学 大学教育実践センター, 51-52.
	学会発表 (国内)	変化の見落とし課題における注意 配分の効果	富田瑛智・澤田裕介・ 森川和則	2009年7月20日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 138
	学会発表 (国内)	単純接触効果の般化による平均顔 の魅力	富田瑛智・森川和則	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 641
	学会発表 (国内)	顔再認における人種差—平均顔の 虚再認を用いて—	富田瑛智・森川和則	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集, 28
	学会発表 (国内)	単純接触効果と再認確信度	富田瑛智・森川和則	2009年12月5日	日本基礎心理学会第28回大会発表論文集, 46
	研究会発表	平均顔への単純接触効果の般化	富田瑛智	2009年3月14日	第6回関西若手実験心理学研究会

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.11	富田瑛智・森川和則	関西心理学会研究奨励賞	関西心理学会

2	指導教員	苧阪 満里子	副指導教員	森川 和則	
	氏名	遠藤 香織	研究分野名	基礎心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	ワーキングメモリにスタイルシフト が及ぼす影響	遠藤香織・苧阪満里 子	2009年3月7日	日本ワーキングメモリ学会第6回大会 4-4.
	学会発表 (国内)	ワーキングメモリにスタイルシフト が及ぼす効果の検討—日本語の 丁寧体と普通体による心的距離表 現の理解—	遠藤香織・苧阪満里 子	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 838- 838.
	学会発表 (国内)	リーディングスパンテストにおける 記憶方略の個人差	遠藤香織・苧阪満里 子	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集 55- 55.
	学会発表 (国外)	Effects of style-shift on working memory.	Endo, K. & Osaka, M.	2009年8月25日	International Conference on Asia Pacific Psychology Program & Abstracts, 318-319.
	研究会発表	ワーキングメモリとスタイルシフト	遠藤香織	2009年3月14日	関西若手実験心理学研究会第6回研究会

3	指導教員	苧阪 満里子	副指導教員	森川 和則	
	氏名	森 数馬	研究室名	基礎心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学術論文 (国内)	日常の音楽聴取における歌詞の役 割についての研究	森 数馬	印刷中	対人社会心理学研究, 10
	学会発表 (国内)	演奏音の誘意性の感情価に及ぼ す歌詞の影響について	森 数馬	2009年5月29日	日本感情心理学会第17回大会プログラム・予 稿集, 38
	学会発表 (国外)	The influence of the meaning of lyrics on the expressed emotion of music valence	Kazuma Mori	2009年11月18日	Proceedings of the Second International Conference of Students of Systematic Musicology, 53-58
	研究会発表	演奏音の喚起する情動の質に及ぼ す歌詞の影響について	森 数馬	2009年12月5日	日本音響学会関西支部第12回若手研究者交 流研究発表会発表資料集, 23

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.12	森 数馬	日本音響学会関西支部第12回若手研究者交流 研究発表会 奨励賞	日本音響学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	森 数馬	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

4	指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	宮本 晃希	研究分野名	適応認知行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	テニスプレーヤーの打球方向予測 スキルと眼球運動についての検討	宮本晃希・三浦利章・ 篠原一光・内藤宏	2009年8月	日本心理学会第73回発表論文集 734.	

5	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	笠置 遊	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	複数観衆問題への対処行動として の補償的自己高揚呈示	笠置 遊・大坊郁夫	印刷中	心理学研究, 81 (印刷中)	○
	学会発表 (国内)	会話の観察によるコミュニケーション 行動への影響—セルフモニタリン グ傾向に注目して—	磯友輝子・笠置遊・大 坊郁夫	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集	
	学会発表 (国内)	複数観衆状況における非言語的行動 の検討	笠置遊・大坊郁夫	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループ・ ダイナミクス学会第56回合同大会発表論文集, 496-497.	
	学会発表 (国外)	Self-presentation in the multiple audience situation depletes regulatory resource.	KASAGI, Y. & DAIBO, I.	2010年1月29日	11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Las Vegas, Nevada. p.318.	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.12.25	笠置 遊	グルダイ学会大会「初スタッフ」体験記	会報ぐるだいニュース第36号

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	笠置 遊	日本学術振興会特別研究員奨励費	日本学術振興会

6	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	横山 ひとみ	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内) 研究会誌	2人会話における非言語手がかりと 関係開始スキルについての研究(1)	横山ひとみ, 前田奈 穂, 大坊郁夫, 藤原 健, 前田貴司, 岸野 文郎, 北村喜文, 高 嶋和毅, 林良彦	2010年3月(予定)	電子情報通信学会技術研究報告, (印刷中)	
	学術論文 (国内) 研究会誌	2人会話における非言語手がかりと 関係開始スキルについての研究(2)	前田奈穂, 大坊郁 夫, 前田貴司, 岸野 文郎, 北村喜文, 高 嶋和毅, 横山ひと み, 藤原健, 林良彦	2010年3月(予定)	電子情報通信学会技術研究報告, (印刷中)	
	紀要論文	マルチ・チャンネル・アプローチによる 説得・依頼	横山ひとみ	2010年3(予定)	対人社会心理学研究, 10, (印刷中)	○
	学会発表 (国内)	非言語的コミュニケーションのマル チ・チャンネル的研究の推進を目指し て	企画・話題提供: 横山 ひとみ	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループ・ ダイナミクス学会第56回合同学会大会発表論 文集, p.(26).	
	学会発表 (国外)	The role of social skills in persuasion—An experimental study using an audio-visual message—	Yokoyama, H. & Daibo, I.	2009年4月2日	Poster presented at the BPS Annual Conference 2009, 2 April 2009, Brighton, U.K. p.69.	○
	学会発表 (国外)	How do we persuade others? The amount of utterance, hand movements and posture of nonverbal behavior	Yokoyama, H. & Daibo, I.	2009年12月13日	Poster presented at the 8th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, 13 December 2009, New Delhi, India. Psychological Studies, 54(4), p.332.	○
	学会発表 (国外)	The role of nonverbal communication in social skills training	Daibo, I. Iso, Y., Taniguchi, J. & Yokoyama, H.	2009年12月14日	Poster presented at the 8th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, 14 December 2009, New Delhi, India. Psychological Studies, 54(4), p.314.	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	横山 ひとみ	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

7	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	西浦 真喜子	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	同性友人に感じる魅力が関係継続動機に及ぼす影響—個人にとっての重要性の観点から—	西浦真喜子・大坊郁夫	2010年3月31日(予定)	対人社会心理学研究, 10(印刷中)	○
	学会発表(国内)	態度予測の正確さが相手の魅力に及ぼす影響	西浦真喜子・大坊郁夫	2009年10月11日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会発表論文集, 700-701.	
	学会発表(国内)	自己と相手の類似性評価と実際の類似性が相手の魅力に及ぼす影響	西浦真喜子・大坊郁夫	2009年11月29日	日本パーソナリティ心理学会第18回大会発表論文集, 168-169.	
	学会発表(国外)	The effect of accurate prediction about partners' attitude on attraction in same-sex friendships.	Makiko Nishiura & Ikuo Daibo	2009年12月13日	Psychological Studies, 54, 311. Poster presented at the 8th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology.	○
	学会発表(国外)	Perceived, actual, and friend-rated similarity of attitude and their effects on attraction between same-sex friend.	Makiko Nishiura & Ikuo Daibo	2010年1月29日	The 11th Annual Meeting of Society for Personality and Social Psychology. p. 260.	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	西浦 真喜子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科
2009.12	西浦 真喜子	2009年度アジア社会心理学会発表支援制度	日本グループ・ダイナミクス学会

8	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	菊池 文音	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会・研究会発表(国内)	二者間会話場面における解読の正確さ: 推論の測定可能性とその展望	菊池文音・大坊郁夫	2009年10月8日	ヒューマンコミュニケーション基礎研究会(HCS) & ヴァーバル・ノンヴァーバルコミュニケーション研究会(VNV)合同研究会	
	学会発表(国内)	家族・友人関係と多次元共感性との関連	菊池文音・大坊郁夫	2009年11月28日	日本パーソナリティ心理学会第18回大会発表論文集, 176-177	
	学会発表(国外)	Pinpoint decoding accuracy in the same-sex dyadic interaction: Can you really guess what I'm thinking and feeling?	Ayane Kikuchi & Ikuo Daibo	2009年12月11日	the eighth biennial conference of the Asian Association of Social Psychology: Psychological Studies, 54, pp. 290	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	菊池 文音	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

9	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	藤原 健	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	覚醒度の異なるポジティブ感情の対人会話場面における機能 — 会話満足度, および手の動きについての検討 —	藤原 健・大坊郁夫	印刷中(2010年3月掲載予定)	感情心理学研究, 17, 3	○
	学術論文(国内), 研究会誌	2人会話における非言語手がかりと関係開始スキルについての研究(1)	横山ひとみ・前田奈穂・大坊郁夫・藤原健・前田貴司・岸野文郎・北村喜文・高嶋和毅・林 良彦	印刷中(2010年3月掲載予定)	電子情報通信学会技術研究報告, 110.	
	学術論文(国内), 研究会誌	2人会話における非言語手がかりと関係開始スキルについての研究(2)	前田奈穂・大坊郁夫・前田貴司・岸野文郎・北村喜文・高嶋和毅・横山ひとみ・藤原健・林 良彦	印刷中(2010年3月掲載予定)	電子情報通信学会技術研究報告, 110.	
	学会発表(国内)	会話行動における覚醒度の異なるポジティブ感情の機能 — 社会的スキルに着目した検討 —	藤原 健・大坊郁夫	2009年5月	感情心理学研究, 17, 3 (抄録集として掲載予定)	
	学会発表(国内)	二者間会話におけるポジティブ感情の機能 — 社会的スキルとの関係	藤原 健・大坊郁夫	2009年10月	日本社会心理学会第50回大会発表論文集 736-737.	
	学会発表(国外)	The interaction of positive affect and social skill in dyadic communication context.	Fujiwara, K., & Daibo, I.	2009年12月	The 8th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology (Psychological Studies, 54, 4, 332.)	○
	研究会発表	対人コミュニケーションにおける感情のはたらき	藤原 健	2010年2月	第25回感情と情動の研究会(於 同志社大学)	
	研究会発表	感情の社会的機能 — 感情が対人コミュニケーションに与える影響 —	藤原 健	2010年2月	第3回感情研究会(於 首都大学東京)	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.5	藤原 健	日本感情心理学会第17回大会優秀発表賞	日本感情心理学会
2010.2	藤原 健	2009年度若手研究者奨励賞	日本社会心理学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	藤原 健	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科
2009.6	藤原 健	2009年度大学院生海外学会発表支援制度	日本社会心理学会

10	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	大槻 一貴	研究分野名	対人社会心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	2者間対話場面における話題と聞き手の姿勢が話者に与える印象	大槻一貴・三浦麻子・大坊郁夫	2009年10月11日	日本社会心理学会第50回大会 日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 発表論文集 886-887

11	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	金 聡希	研究分野名	対人社会心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	化粧タイプが対人認知に与える影響について	金 聡希	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会
	学会発表 (国内)	化粧意識、顔/肌イメージの日韓比較研究(2)	金 聡希・村澤 博人・趙 鏞珍・大坊郁夫・崔 京國	2009年11月1日	第14回日本顔学会大会

12	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	倉元 俊輝	研究分野名	対人社会心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	紀要論文	他者からの役割期待が自己認知にもたらす影響	倉元 俊輝・大坊 郁夫	2010年3月(印刷中)	対人社会心理学研究, 10 ○
	学会発表 (国内)	役割遂行への他者からの期待感が自己認知にもたらす影響	倉元 俊輝・大坊 郁夫	2009年10月	日本社会心理学第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 発表論文集, 518-519.

13	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	藤井 千絵	研究分野名	対人社会心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	非対面コミュニケーションは互恵性と信頼を高めるか～囚人のジレンマ・ゲームを用いて～	藤井 千絵・藤原 武弘・大坊 郁夫	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回大会日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 発表論文集

14	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹	
	氏名	八重樫 海人	研究分野名	対人社会心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学術論文 (国内), 研究会誌	コミュニケーションツールの違いによる3者間会話に関する研究(2) — 対人印象とメディア意識、葛藤解決に用いる方略に注目して—	八重樫海人・松田昌史・大坊郁夫	印刷中(2010年3月掲載予定)	電子情報通信学会技術研究報告, 110.
	学術論文 (国内), 研究会誌	コミュニケーションツールの違いによる3者間会話に関する研究(1) — 葛藤状況における意思決定の偏り	松田昌史・八重樫海人・大坊郁夫	印刷中(2010年3月掲載予定)	電子情報通信学会技術研究報告, 110.
	学会発表 (国内)	他者存在のあり方の違いが笑いの同期に及ぼす影響の検討	八重樫海人・大坊郁夫	2009年10月1日	日本社会心理学会第50回大会発表論文集 382-383.

15	指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫		
氏名	阿形 亜子	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC 1 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学会発表 (国内)	集団全体の業績変動が各成員のパフォーマンスに及ぼす影響	阿形亜子・釘原直樹	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 1051.		
学会発表 (国内)	マスコミが対象とするの変換(13) 記憶バイアスに関する実験的研究	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 301.		
学会発表 (国内)	マスコミが対象とするの変換(14) 機械分析の方法の開発	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 302.		
学会発表 (国内)	利他的状況及び利己的状況に置ける社会的な手抜き一場面想定法による検討	阿形亜子・釘原直樹	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループダイナミクス学会第56回合同大会発表論文集, 947.		
学会発表 (国内)	集団全体の遂行水準が各成員の動機づけに及ぼす影響-他者の動機づけ認知との複合的影響	阿形亜子・釘原直樹	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループダイナミクス学会第56回合同大会発表論文集, 261.		
学会発表 (国内)	マスコミが対象とするの変換(15) テレビCM認知の歪み	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループダイナミクス学会第56回合同大会発表論文集, 150-151.		
学会発表 (国内)	マスコミが対象とするの変換(16) テキストマイニングソフトの特質を生かした検討	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回・日本グループダイナミクス学会第56回合同大会発表論文集, 152-153.		
学会発表 (国外)	The effects of fluctuating group achievement on individual member's performance	AGATA, A. & KUGIHARA, N.	2009年1月28日	the 11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Las Vegas, Nevada. p.270.		○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2010.2	阿形 亜子	日本社会心理学会若手研究者奨励賞	日本社会心理学会

16	指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫		
氏名	上原 依子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学会発表 (国内)	規範の遵守・信奉による不適応問題に関する研究 —規範認知が規範的行動への評価低下におよぼす影響—	上原依子・釘原直樹	2009年10月11日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループダイナミクス学会第56回大会合同大会発表論文集, 584-585.		
学会発表 (国内)	社会的規範の過度の信奉が不適応におよぼす影響	上原依子・釘原直樹	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集, 21.		
学会発表 (国内)	社会的規範の認知スタイルが不適応におよぼす影響 —規範の信奉的認知と、規範的行動への評価の関連性検討—	上原依子・釘原直樹	2009年11月28日	日本パーソナリティ心理学会第18回大会発表論文集, 46-47.		
学会発表 (国内)	適応における社会的規範の認知の機能 —規範的行動場面における明示的行動意図への評価による検討—	上原依子・釘原直樹	2010年3月28日	日本発達心理学会第21回大会論文集, 647.		
学会発表 (国外)	"Not always adaptable", the problem of conforming and espousing the values of norms.	Uehara, Y., & Kugihara, N.	2009年12月12日	Poster Presentation at the 8th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology, New Delhi, India.		○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	上原 依子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

17	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
氏名	古村 和恵	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
著書 (分担執筆)	地域における講義とグループディスカッションを複合した多職種セミナーの有用性	鄭陽・井村千鶴・野末よし子・赤澤輝和・古村和恵・森田達也・大木純子・清原恵美・井上聡・田村ひでみ・藤本亘史・大谷弘行・天野功二・佐久間由美・加藤亜沙代・福田かおり・末田千恵・山岸暁美	2009年11月1日	ペインクリニック30巻11号, 1553-1563		
著書 (分担執筆)	浜松市のがん患者に対するケアマネジメントの実態調査	井村千鶴・古村和恵・野末よし子・赤澤輝和・森田達也	2010年(印刷中)	緩和ケア20巻, 92-98		
学会発表 (国内)	がん患者の医療情報共有ツール「わたしのカルテ」の有用性に関する介入調査:OPTIM浜松	古村和恵・佐久間由美・鈴木小ゆり・前堀直美・野末よし子・井村千鶴・森田達也	2009年6月19日	第14回日本緩和医療学会学術大会, 大阪		

18	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	中里 和弘	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	会報紙	若年者が抱える死別体験者の苦しみ	中里和弘	2009年12月8日	NPO法人 生と死を考える会会報,120,6-7.	○
	会報紙	公開講演会報告「祈りの心理-祈りについて考えてみよう-」	中里和弘	2009年12月25日	宗教心理学研究会ニューズレター,第11号,1-4.	
	学会発表(国内)	故人との絆の継続の機能に関する探索的検討	中里和弘・塩崎麻里子・恒藤暁・山鹿しのぶ・岸良美絵・高浪博美・藤田綾子	2009年6月19日	日本緩和医療学会学第14回学術大会論文集,144	
	学会発表(国内)	故人との絆の継続の認識時期および機能についての検討	中里和弘・塩崎麻里子・恒藤暁・藤田綾子	2009年8月28日	日本心理学会学第73回大会論文集,455	
	学会発表(国内)	講演会を通じた成人に対するデステーションの可能性について	中里和弘・赤澤正人	2009年11月8日	日本死の臨床研究会第30回大会論文集,321	
	研究会発表	故人と遺族との関係性-故人との絆の継続に焦点を当てて-	中里和弘	2009年7月28日	臨床死生学・老年行動学講座、減災人間科学講座主催 死別に関する研究会	

19	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	中野 雅子	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	軽度認知障害(MCI)の概念と診療周辺の動向	中野雅子	2009年7月1日	京都市立看護短期大学紀要 第34号	○
	学術論文(国内)	高齢者の入浴後の皮膚油分・水分の回復プロセスと皮膚乾燥傾向に関する研究	中野雅子	2009年7月1日	京都市立看護短期大学紀要 第34号	○
	学術論文(国内)	認知症高齢者との交流場面における看護学生の心理的特徴-プロセスレコードによる内容分析-	中野雅子 徳永基与子西尾ゆかり	2010年3月1日	滋賀医科大学看護学ジャーナル 第8巻1号	○
	学会発表	看護学生間の演習における看護師役・患者役体験の学びと課題	中野雅子 伊藤良子	2009年8月1日	第40回日本看護学会 看護教育 抄録集	○
	学会発表	妊娠実習における看護学生の体験と学び	伊藤良子 中野雅子	2009年8月2日	第40回日本看護学会 看護教育 抄録集	○
	学会発表	在宅療養における介護家族のジレンマへの看護学生の意識	中野雅子	2009年8月3日	第40回日本看護学会 老年看護 抄録集	○
	学会発表	手術後回復への意欲を喪失した高齢患者に対する関わり-看護学実習生の3週間の試み-	中野雅子	2009年11月1日	第40回日本看護学会 地域看護 抄録集	○

20	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	田淵 恵	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	中高年者の若年世代支援プログラムにおける関心とその年齢差	田淵恵	2009年12月	生老病死の行動科学,14,3-12.	○
	学会発表(国内)	祖父母世代の地域子育て支援への意欲と世代継承性との関連に関する検討	田淵恵・藤田綾子	2009年6月19日	老年社会科学大会報告要旨号, 31,175.	○
	学会発表(国内)	情動を伴った自伝的記憶の想起に年齢が及ぼす影響	増本康平・田淵恵・永門隆太郎・河崎円香	2009年7月19日	日本認知心理学会第7回大会抄録集, 132.	
	学会発表(国内)	自伝的記憶の想起内容と顕在的・潜在的時局的展望との関連	田淵恵・増本康平・小林知博・藤田綾子	2009年8月28日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 886.	
	学会発表(国内)	世代間交流型ボランティアにおける世代継承性(Generativity)の枠組みと年齢との関連	田淵恵・藤田綾子	2009年9月13日	第12回日本老年行動科学会抄録集,45	
	学会発表(国内)	自伝的記憶の再構成的想起と転換的語り直し	田淵恵・末松弥歩・中原純	2010年2月28日	日本認知心理学会高齢者心理学部会	
	学会発表(国外)	A quantitative study for the barriers for participating in child-support activities by grandparental generations.	Megumi Tabuchi, Jun Nakahara, Ayako Fujita	2009年7月6日	XIXth IAGG World Congress. Paris, France.	

21	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	中川 威	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	Valuation of Lifeの概念と尺度の検討	中川威・石岡良子	2009年12月25日	生老病死の行動科学, 14, 43-53.	○
	事例論文	学生による横断的科学コミュニケーションの試み	飯島玲生・中川威・石田峰洋・鈴木竜太・中津壮人・橋本亮・矢引達教	2010年2月(予定)	科学技術コミュニケーション, 7, 109-120.(印刷中)	○
	学会発表(国内)	虚弱超高齢者における老年的超越の徴候に関する質的研究	中川威・増井幸恵・権藤恭之・河合千恵子・呉田陽一・高山緑・高橋龍太郎	2009年6月20日	老年社会科学会報告要旨号, Vol.31 No.2, 222.	
	学会発表(国内)	Well-beingが高い虚弱超高齢者のGerotranscendence特性の検討	増井幸恵・権藤恭之・河合千恵子・呉田陽一・高山緑・中川威・高橋龍太郎・藺牟田洋美	2009年6月20日	老年社会科学会報告要旨号, Vol.31 No.2, 221.	
	学会発表(国内)	高齢期における宇宙的超越と年齢および主観的幸福感との関連	増井幸恵・権藤恭之・河合千恵子・呉田陽一・高山緑・中川威・高橋龍太郎	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 1171.	
	学会発表(国内)	超高齢者の経験に関する現象学的研究	中川威・増井幸恵・権藤恭之・河合千恵子・呉田陽一・高山緑・高橋龍太郎	2009年8月13日	第12回日本老年行動科学抄録集, 59.	
	学会発表(国外)	Cultural-specific signs of gerotranscendence in the very old in Japan	T. Nakagawa, Y. Masui, Y. Kureta, M. Takayama, C. Kawai, Y. Gondo, R. Takahashi	2009年7月6日	XIXth IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Programme, 227.	○
	研究会発表	超高齢者の経験に関する現象学的研究	中川威	2009年8月1日	第6回臨床実践の現象学研究会	
	研究会発表	超高齢者における日常生活の意味に関する研究	中川威	2010年2月6日	第11回臨床実践の現象学研究会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4.1	中川 威	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科
2009.4.15	中川 威	スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団研究助成	スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

22	指導教員	佐藤 真一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	石岡 良子	研究分野名	臨床心理学・老年行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire (PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Gondo, Y., Renge, N., Ishioka, Y., Kurokawa, I., Ueno, D., & Rendell, P.	2010年(予定)	Japanese Psychological Research Original Article <i>in press</i>	○
	紀要論文	Valuation of Lifeの概念と尺度の検討	中川威・石岡良子	2009年12月25日	生老病死の行動科学, 14, 43-53.	○
	学会発表(国内)	仕事／家事の複雑性尺度の信頼性・妥当性の検討.	石岡良子・権藤恭之・蓮花のぞみ・黒川育代・上野大介・藤田綾子	2009年6月19日	第51回日本老年社会科学会大会, 0130	
	学会発表(国内)	忙しさ・ルーティーン自己評価尺度(日本語版MPED)の信頼性と妥当性—記憶愁訴および展望的記憶方略との相関関係—	石岡良子・蓮花のぞみ・黒川育代・権藤恭之・藤田綾子	2009年8月27日	第73回日本心理学会大会, PS0999	
	学会発表(国内)	「記憶愁訴」の背景にある記憶の失敗行動の検討—記憶力低下を自覚させるものとは何か—	権藤恭之・黒川育代・石岡良子・蓮花のぞみ	2009年6月20日	老年社会科学会第51回大会報告要旨号, 31(2), p.236.	
	学会発表(国内)	高齢期における展望的記憶の自己評価に影響を及ぼす要因	蓮花のぞみ・権藤恭之・上野大介・石岡良子・黒川育代・藤田綾子	2009年6月20日	老年社会科学 Vol.31-2, 235	
	学会発表(国内)	音声刺激によるスループテストの開発	黒川育代・蓮花のぞみ・石岡良子・上野大介・権藤恭之・藤田綾子	2009年7月19日	日本認知心理学会第7回大会論文集, p.8.	
	学会発表(国内)	実験室場面における高齢者の展望的記憶—Virtual Week—	蓮花のぞみ・権藤恭之・上野大介・石岡良子・黒川育代・藤田綾子	2009年7月20日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 33.	
	学会発表(国内)	Searching for sources of aging paradox in prospective memory.	Gondo, Y., Renge, N., Kurokawa, I., Ishioka, Y., & Ueno, D.,	2009年7月27日	The eighth biennial meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition, Kyoto	○

学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶研究(2) -パフォーマンスと認知機能との関 係の検討-	黒川育代・蓮花のぞ み・石岡良子・権藤恭 之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会論文集, p.866.	
学会発表 (国内)	高齢期の展望的記憶研究(1)- Virtual Week とActual Week-	蓮花のぞみ・石岡良 子・黒川育代・権藤恭 之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 865.	
学会発表 (国外)	Relation of psychosocial background to self-reported visual and/or hearing difficulties.	Ishioka, Y., Gondo, Y., Ueno, D., Renge, N., Kurokawa, I., & Fujita, A.	2009年7月7日	19th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress of Gerontology and Geriatrics, 4059	○
学会発表 (国外)	Age related differences in the factors which influence on prospective memory.	Nozomi Renge, Yasuyuki Gondo, Daisuke Ueno, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Ayako Fujita	2009年11月21日	The Gerontological Society of America 62nd Annual Scientific Meeting. 127	○
研究会発表	高齢者の聴覚機能に与える注意分 配課題の影響	石岡良子	2010年2月28日(予定)	認知心理学会高齢者部会(第4回研究会)	
研究会発表	Influence of cognition on the discrepancy between subjective and objective measurements of sensory function in old people.	Ishioka, I., Gondo, Y., Kurokawa, I., & Renge, N.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Prospective memory strategies in elderly people	Renge, N., Ishioka, I., Kurokawa, I., & Gondo, Y.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Influence of the external aid on prospective memory performance in old people.	Gondo, Y., Kurokawa, I., Ishioka, I., Renge, N., & Rendell, P.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4.	石岡 良子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

23 指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
氏名	黒川 育代	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文 (国内)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire(PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Gondo, Y., Renge, N., Ishioka, Y., Kurokawa, I., Ueno, D., & Rendell, P.	印刷中	Japanese Psychological Research	
紀要論文	高齢者の孤独感に及ぼす「孝」へ の期待と子どもからのサポートの 影響-日本と香港の比較-	黒川育代・易家怡	2009年12月	生老病死の行動科学, 14, p.13-22.	○
学会発表 (国内)	仕事/家事の複雑性尺度の信頼 性・妥当性の検討.	石岡良子・権藤恭之・ 蓮花のぞみ・黒川育 代・上野大介・藤田綾 子	2009年6月19日	第51回日本老年社会学会大会	
学会発表 (国内)	「記憶愁訴」の背景にある記憶の失 敗行動の検討 -記憶力低下を自覚させるものとは 何か-	権藤恭之・黒川育代・ 石岡良子・蓮花のぞ み	2009年6月20日	老年社会学会第51回大会報告要旨号, 31(2), 236.	
学会発表 (国内)	高齢期における展望的記憶の自己 評価に影響を及ぼす要因	蓮花のぞみ・権藤恭 之・上野大介・石岡良 子・黒川育代・藤田綾 子	2009年6月20日	老年社会学会第51回大会報告要旨号, 31(2), 235	
学会発表 (国内)	音声刺激によるスループテストの 開発	黒川育代・蓮花のぞ み・石岡良子・上野大 介・権藤恭之・藤田綾 子	2009年7月19日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 8.	
学会発表 (国内)	実験室場面における高齢者の展望 的記憶 -Virtual Week-	蓮花のぞみ・権藤恭 之・上野大介・石岡良 子・黒川育代・藤田綾 子	2009年7月20日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 33.	
学会発表 (国内)	高齢期の展望的記憶研究(1) -Virtual Week とActual Week-	蓮花のぞみ・石岡良 子・黒川育代・権藤恭 之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 865.	
学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶研究(2) -パフォーマンスと認知機能との関 係の検討-	黒川育代・蓮花のぞ み・石岡良子・権藤恭 之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 866.	
学会発表 (国内)	忙しさ・ルーティーン自己評価尺度 (日本語版MPED)の信頼性と妥当 性-記憶愁訴および展望的記憶方 略との相関関係-	石岡良子・蓮花のぞ み・黒川育代・権藤恭 之・藤田綾子	2009年8月27日	第73回日本心理学会大会, PS0999	
学会発表 (国外)	Relation of psychosocial background to self-reported visual and/or hearing difficulties.	Ishioka, Y., Gondo, Y., Ueno, D., Renge, N., Kurokawa, I., & Fujita, A.	2009年7月7日	19th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress of Gerontology and Geriatrics, 4059	○
学会発表 (国外)	Searching for sources of aging paradox in prospective memory.	Gondo, Y., Renge, N., Kurokawa, I., Ishioka, Y., & Ueno, D.	2009年7月27日	The eighth biennial meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	○

学会発表 (国外)	Age related differences in the factors which influence on prospective memory.	Renge, N., Gondo, Y., Ueno, D., Ishioka, Y., Kurokawa, I., & Fujita, A.	2009年11月21日	The Gerontological Society of America 62nd Annual Scientific Meeting. 127	○
研究会発表	Virtual Weekについて	黒川育代	2009年7月26日	認知心理学会 高齢者心理研究部会(第3回)	
研究会発表	高齢期の展望的記憶に影響を及ぼす、内的・外的要因の検討	黒川育代	2010年2月28日(予定)	認知心理学会 高齢者心理研究部会(第4回)	
研究会発表	Influence of the external aid on prospective memory performance in old people.	Gondo, Y., Kuroawa, I., Ishioka, I., Renge, N., & Rendell, P.	2010年3月29-31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Prospective memory strategies in elderly people.	Renge, N., Ishioka, I., Kuroawa, I., & Gondo, Y.	2010年3月29-31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Influence of cognition on the discrepancy between subjective and objective measurements of sensory function in old people.	Ishioka, I., Gondo, Y., Kuroawa, I., & Renge, N.	2010年3月29-31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	黒川 育代	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

24	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	末松 弥歩	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	心理的障害をかかえた人における自伝的記憶の概括化と特定化に関する研究の動向	末松弥歩	2009年12月1日	生老病死の行動学, 14, 33-42.	○
	学会発表 (国内)	死別による人格の発達と自然観の関連	末松弥歩	2009年9月	死の臨床, 32(2), 275.	

25	指導教員	佐藤 眞一	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	河崎 円香	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	高齢者の好む広告とワーキングメモリとの関連の検討—社会情動的選択性理論の観点から—	河崎円香・増本康平	2009年12月	生老病死の行動科学 14 23-32	○
	学会発表 (国内)	広告の記憶と評価に年齢が及ぼす影響	河崎円香・増本康平・権藤恭之	2009年7月	日本認知心理学会第7回大会発表論文集 130	
	学会発表 (国内)	情動を伴った自伝的記憶の想起に年齢が及ぼす影響	増本康平・田淵恵・門永隆太郎・河崎円香	2009年7月	日本認知心理学会第7回大会発表論文集 9	
	学会発表 (国内)	ワーキングメモリーと情動記憶の関連性に関する検討	上野大介・増本康平・河崎円香・黒川育代・権藤恭之	2009年8月	日本心理学会第73回大会論文集 868	
	研究会発表	高齢者を対象とした広告の認知に関する研究と今後の展望	河崎円香	2009年12月5日	第15回老年心理学研究会	
	研究会発表	フレーミング効果に影響を与える要因と今後の展望—高齢者を対象とした調査結果を踏まえて—	河崎円香	2010年2月28日	第4回日本認知心理学会高齢者心理研究部会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	河崎円香	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

26	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	中井 宏	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	自己評価スキル獲得法に関する一考察 —一般ドライバーに対する運転評価基準の適正化—	中井宏・臼井伸之介・藤井秀朗・谷川幸男	2009年6月12日	日本交通心理学会第74回大会発表論文集, 17-20.	○
	学会発表 (国内)	安心感を与える自動車運転の定量化 —同乗者に与える安心感と他の道路ユーザーに与える安心感—	中井宏・臼井伸之介	2009年8月	日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 23.	
	研究会発表	運転技能に対する自己評価スキルトレーニング—どのような場合にミラーリング法が必要か—	中井宏・臼井伸之介・藤井秀朗・谷川幸男	2009年10月17日	大阪交通科学研究会40周年記念シンポジウム・若手研究者支援プログラム	

27	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	安達 悠子	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	看護業務における違反の心理的生起要因に関する研究	安達悠子・臼井伸之介・松本友一郎	2010年3月(予定)	応用心理学研究, 35(2)(印刷中)	○
	報告書 (研究所)	看護における違反事例の収集と心理的要因の関わり	安達悠子・臼井伸之介・篠原一光・松本友一郎	2009年8月	電子情報通信学会技術研究報告, 109(177), 13-16	
	学会発表 (国内)	大学生の違反抵抗感測定ツールの作成 -Implicit Association Testを用いて-	安達悠子・臼井伸之介	2009年9月13日	日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 28	
	学会発表 (国内)	違反の心理的生起要因に関する検討 -看護学生を対象に-	安達悠子・臼井伸之介・松本友一郎	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集, 67	
	学会発表 (国内)	大学生の違反事例の収集とその分析 -心理的要因との関連-	安達悠子・森泉慎吾・篠原一光・臼井伸之介	2009年12月5日	平成21年度人間工学会関西支部大会講演論文集, 65-68	

28	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	淵 真輝	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	船型経験が避航判断に及ぼす影響	淵真輝・藤本昌志・臼井伸之介・広野康平	2010年3月(予定)	日本航海学会論文集第122号(印刷中)	○
	学会発表 (国内)	船型経験と避航判断に関する調査	淵真輝・藤本昌志・臼井伸之介・広野康平	2009年10月16日	日本航海学会第121回講演会予稿集	
	研究会発表	海上交通における動作判断時機の特徴	淵真輝・臼井伸之介	2009年12月16日	大阪交通科学研究会平成21年度学術研究発表会講演論文集	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	淵 真輝	船舶の衝突回避操縦判断に関する研究	日本学術振興会

29	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	蓮花 のぞみ	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	Reliability and Validity of the Prospective and Retrospective Memory Questionnaire (PRMQ) in Young and Old people: A Japanese Study.	Yasuyuki Gondo, Nozomi Renge, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Daisuke Ueno, & Peter Rendell	印刷中	Japanese Psychological Research	○
	報告書	高齢ドライバーの高速道路走行時の運転特性調査分析	蓮花一己・多田昌裕・飯田克弘・池田典弘・藤村安則・蓮花のぞみ	2010年3月下旬(予定)	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社 平成21年度研究助成 調査研究報告書	
	学会発表 (国内)	仕事／家事の複雑性尺度の信頼性・妥当性の検討.	石岡良子・権藤恭之・蓮花のぞみ・黒川育代・上野大介・藤田綾子	2009年6月19日	第51回日本老年社会学会大会, 0130	
	学会発表 (国内)	高齢期における展望的記憶の自己評価に影響を及ぼす要因	蓮花のぞみ・権藤恭之・上野大介・石岡良子・黒川育代・藤田綾子	2009年6月20日	老年社会科学 Vol.31-2, 235	
	学会発表 (国内)	「記憶愁訴」の背景にある記憶の失敗行動の検討-記憶力低下を自覚させるものとは何か-	権藤恭之・黒川育代・石岡良子・蓮花のぞみ	2009年6月20日	老年社会学会第51回大会報告要旨号, 31(2), p.236.	
	学会発表 (国内)	音声刺激によるスループテストの開発	黒川育代・蓮花のぞみ・石岡良子・上野大介・権藤恭之・藤田綾子	2009年7月19日	日本認知心理学会第7回大会論文集, p.8.	
	学会発表 (国内)	実験室場面における高齢者の展望的記憶 -Virtual Week-	蓮花のぞみ・権藤恭之・上野大介・石岡良子・黒川育代・藤田綾子	2009年7月20日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 33.	
	学会発表 (国内)	忙しさ・ルーティーン自己評価尺度(日本語版MPED)の信頼性と妥当性-記憶愁訴および展望的記憶方略との相関関係-	石岡良子・蓮花のぞみ・黒川育代・上野大介・権藤恭之・藤田綾子	2009年8月26日	第73回日本心理学会大会, PS0999	
	学会発表 (国内)	高齢期の展望的記憶研究(1)-Virtual Week とActual Week-	蓮花のぞみ・石岡良子・黒川育代・権藤恭之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 865.	
	学会発表 (国内)	高齢者の展望的記憶研究(2)-パフォーマンスと認知機能との関係の検討-	黒川育代・蓮花のぞみ・石岡良子・権藤恭之・藤田綾子	2009年8月27日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 866.	
	学会発表 (国内)	高齢者のし忘れ防止に関する検討 -展望的記憶に着目して-	蓮花のぞみ・権藤恭之	2009年9月12日	日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 17.	

学会発表 (国外)	Relation of psychosocial background to self-reported visual and/or hearing difficulties.	Ishioka, Y., Gondo, Y., Ueno, D., Renge, N., Kurokawa, I., & Fujita, A.	2009年7月7日	19th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress of Gerontology and Geriatrics, 4059	○
学会発表 (国外)	Searching for sources of aging paradox in prospective memory.	Gondo, Y., Renge, N., Kurokawa, I., Ishioka, Y., & Ueno, D.	2009年7月26-30日	The eighth biennial meeting of the Society for Applied Research in Memory and Cognition	○
学会発表 (国外)	Age related differences in the factors which influence on prospective memory.	Nozomi Renge, Yasuyuki Gondo, Daisuke Ueno, Yoshiko Ishioka, Ikuyo Kurokawa, Ayako Fujita	2009年11月21日	The Gerontological Society of America 62nd Annual Scientific Meeting. 127	○
研究会発表	高齢ドライバーの補償行動と運転行動の関連—中年ドライバーとの比較—	蓮花のぞみ・多田昌裕・臼井伸之介・蓮花一己	印刷中	交通科学「大阪交通科学研究会40周年記念事業若手支援プログラム」	
研究会発表	Prospective memory strategies in elderly people	Renge, N., Ishioka, I., Kuroawa, I., & Gondo, Y.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Influence of the external aid on prospective memory performance in old people.	Gondo, Y., Kuroawa, I., Ishioka, I., Renge, N., & Rendell, P.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	
研究会発表	Influence of cognition on the discrepancy between subjective and objective measurements of sensory function in old people.	Ishioka, I., Gondo, Y., Kuroawa, I., & Renge, N.	2010年3月29~31日(予定)	The 8th Tsukuba International Conference on Memory	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	蓮花のぞみ	高齢ドライバーの運転行動におけるエラーとリスク回避に関する実証的研究	大阪交通科学研究会
2009.4	蓮花のぞみ	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

30	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光	
	氏名	紀ノ定 保礼	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	学会発表 (国内)	到達保持運動における予測的制御メカニズム	紀ノ定 保礼・杉尾 武志	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会論文集 49
					審査有無

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.12	紀ノ定 保礼	関西心理学会研究奨励賞	関西心理学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	紀ノ定 保礼	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

31	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光	
	氏名	武市 尚大	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	学会発表 (国内)	視覚検出課題に対する持続的放置音の影響	武市尚大・上田真由子・臼井伸之介	2009年7月19日	日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 22.
	学会発表 (国内)	視覚トラッキング課題に対する持続的放置音の影響	武市尚大・上田真由子・臼井伸之介	2009年8月20日	日本応用心理学会第76回大会発表論文集, 34.
	学会発表 (国内)	視覚トラッキング課題に対する持続的放置音の影響(2) -課題負荷による変化-	武市尚大・上田真由子・臼井伸之介	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集, 47.

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	武市 尚大	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

32	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	森泉 慎吾	研究分野名	応用行動学・ボランティア行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	リスクテイキング行動尺度の作成の試み－信頼性・妥当性の検討－	森泉慎吾・臼井伸之介・中井宏	未定	労働科学(印刷中)	○
	学会発表 (国内)	リスクテイキング行動尺度の作成(1)－項目の選定と信頼性・妥当性の検証－	森泉慎吾・臼井伸之介	2009年9月12日	日本応用心理学会第76回大会発表論文集 24.	
	学会発表 (国内)	リスクテイキング行動尺度の作成(2)－構成概念妥当性の実験的検討－	森泉慎吾・臼井伸之介	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会発表論文集 35.	
	学会発表 (国内)	リスクテイキング行動尺度の作成(3)－妥当性と因子特性の検討－	森泉慎吾・臼井伸之介	2009年12月5日	平成21年度日本人間工学会関西支部大会発表論文集 69-72.	
	研究会発表	リスクテイキング行動尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	森泉慎吾・臼井伸之介・中井宏	2009年12月16日	大阪交通科学研究会平成21年度学術研究発表会 講演論文集 15-16.	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	森泉 慎吾	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

33	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	臼井 伸之介	(先端人間科学講座)	
	氏名	徳植 雅恵	研究分野名	リスク人間科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	『まちづくり』概念の曖昧さからみるまちづくりの在り方	徳植雅恵・渥美公秀・諏訪晃一	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会論文集 322-323.	
	学会発表 (国内)	長期的研究における「終わりのあるフィールドワーク」の意義	徳植雅恵・渥美公秀・諏訪晃一	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会論文集 1038-1039.	

34	指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	金澤 忠博		
	氏名	加藤 真由子	研究分野名	比較発達心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	2歳齢保育園児の向社会的なやり取り	加藤真由子・安田純・志澤康弘・金澤忠博・日野林俊彦・南徹弘	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会論文集 1099.	
	学会発表 (国内)	学齢期における超低出生体重児の共感性について	加藤真由子・鎌田次郎・金澤忠博・安田純・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010年3月26日	日本発達心理学会第21回大会論文集	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	加藤 真由子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

35	指導教員	金澤 忠博	副指導教員	日野林俊彦/中道正之		
	氏名	河原崎 智春	研究分野名	比較発達心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	統合保育場面における発達障がい児と定型発達児の仲間関係	河原崎智春・安田純・大西賢治・金澤忠博・日野林俊彦・南徹弘	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集 682	
	学会発表 (国内)	学齢期の超低出生体重児における発達障害の行動指標 ―自閉症スペクトラムを中心に―	金澤忠博・安田純・北村真知子・加藤真由子・河原崎智春・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘・藤村正哲	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	
	学会発表 (国内)	超低出生体重児における学齢期の気質の変化傾向と心理検査の関連	安田純・金澤忠博・北村真知子・加藤真由子・河原崎智春・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	
	学会発表 (国内)	超低出生体重児の長期予後―幼児期の精神発達と学齢期のIQとの関連	北村真知子・金澤忠博・安田純・加藤真由子・河原崎智春・糸魚川直祐・日野林俊彦・南徹弘	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	河原崎 智春	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

36	指導教員	志村 剛	副指導教員	八十島 安伸		
氏名	篠原 祐平	研究分野名	行動生理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国内)	扁桃体の一時的不活化が高嗜好性味刺激の自発的摂取に及ぼす影響	篠原 祐平・八十島安伸・乾 賢・志村剛	2009年12月	日本味と匂学会論文集, 16, 3, 381-384	○	
学術論文 (国外)	Cannabinoid in the nucleus accumbens enhances the intake of palatable solution	Yuhei Shinohara, Tadashi Inui, Takashi Yamamoto and Tsuyoshi Shimura	2009年10月7日	NeuroReport, 20, 15, 1382-1385	○	
学会発表 (国内)	The role of the amygdala in palatability-induced feeding.	Yuhei Shinohara, Yasunobu Yasoshima, Tadashi Inui and Tsuyoshi	2009年7月27日~8月1日	The 36th Congress of the International Union of Physiological Sciences		
学会発表 (国内)	扁桃体の一時的不活化が高嗜好性味刺激の自発的摂取に及ぼす影響	篠原 祐平・八十島安伸・乾 賢・志村剛	2009年9月2~4日	日本味と匂学会第43回大会		
学会発表 (国内)	The different involvement of the amygdalar nuclei in the palatability-induced ingestion.	Yuhei Shinohara, Yasunobu Yasoshima, Tadashi Inui and Tsuyoshi	2009年9月16~18日	第32回日本神経科学大会		

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.9	篠原祐平・八十島安伸・乾賢・志村剛	日本味と匂学会論文賞	日本味と匂学会

37	指導教員	志村 剛	副指導教員			
氏名	藤原 有子	研究分野名	行動生理学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国内)	アスペルガー症候群生徒の学習指導に関する研究—思春期・受験記を迎えたA少年の事例を通じて—	藤原有子・村瀬 忍	2009年7月7日	臨床発達心理実践研究 第4巻 pp105-111		
学会発表 (国内)	知的障がい児の食生活の実態—偏食の克服と傾向—	藤原有子・志村剛	2009年6月6日	日本食育学会総会 学術大会第3回 pp50		
学会発表 (国内)	高校へ進学したアスペルガー症候群A君への学習指導の事例	藤原有子・村瀬 忍	2009年8月8日	日本臨床発達心理士会 第5回全国大会大会論文集 pp60-61		
学会発表 (国内)	障害児の食における実態調査—療育手帳別にみられる発達から—	藤原有子	2010年3月26日	日本発達心理学会第21回大会 pp216		

38	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
氏名	西田 豊	研究分野名	行動データ科学	学年	DC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国外)	Why does the base rate appear to be ignored? The equiprobability hypothesis.	Hattori, M. & Nishida, Y.	2009年7月20日	Psychonomic Bulletin and Review, 16(6), 1065-1070.	○	
学会発表 (国内)	混合分布を用いた半教師つき概念学習モデル	西田 豊	2009年8月28日	日本心理学会第73回大会論文集, 3AM043		
学会発表 (国内)	不完全フィードバック情報を用いた混合概念学習モデル	西田 豊	2009年9月11日	日本認知科学会第26回大会論文集, P2-45		
研究会発表	次元縮約を伴ったファジィカテゴリ形成モデル	西田 豊	2010年2月20日	千葉大学スタートアップCOE「認知適応科学の創成」プロジェクト, 概念研究ワークショップ		

39	指導教員	足立 浩平	副指導教員	宮本 友介		
氏名	橋本 翔	研究分野名	行動データ科学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学会発表 (国内)	シンプリマックスターゲットを事前分布に用いたベイズ因子分析	橋本 翔	2009年7月20日	日本行動計量学会第37回大会 発表論文抄録集 270-271		
研究会発表	MCMCによる拡張シンプリマックス・ベイズ因子分析	橋本 翔	2009年12月4日	科学研究費シンポジウム「多変量データ解析法への計算機統計学・行動計量学的アプローチの新展開」発表論文集 7-15		

40	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
氏名	堀 一輝	研究分野名	行動データ科学	学年	MC 1 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学会発表 (国内)	三相主成分分析における核配列の単純構造化を目指した斜交カイニ乗マックス回転	堀 一輝	2009年5月17日	日本計算機統計学会第23回大会論文集 151-154.		

41	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦		
	氏名	日暮 泰男	研究分野名	行動形態学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	新世界サル固有背筋の機能形態学研究	熊倉 博雄・岡 健司・ 廣川 容子・日暮 泰男・平崎 鋭矢	(印刷中)	昭和医学会雑誌	
	学術論文 (国外)	Gaits of Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>) on a horizontal ladder and arboreal stability.	Yasuo Higurashi, Eishi Hirasaki, Hiroo Kumakura	2009年4月	American Journal of Physical Anthropology 138: 448-457.	○
	学術論文 (国外)	Dynamic plantar pressure distribution during locomotion in Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>).	Eishi Hirasaki, Yasuo Higurashi, Hiroo Kumakura	(印刷中)	American Journal of Physical Anthropology.	○
	学術論文 (国外)	Palmar and plantar pressure while walking on a horizontal ladder and single pole in <i>Macaca fuscata</i> .	Yasuo Higurashi, Eishi Hirasaki, Hiroo Kumakura	(印刷中)	International Journal of Primatology.	○
	学会発表 (国内)	ニホンザルのロコモーションにおける肩関節筋の機能	日暮 泰男・渡邊 翔平・平崎 鋭矢・熊倉 博雄	2009年7月19日	霊長類研究 25(増補版), S-26.	
	学会発表 (国内)	主成分分析による体肢の協調運動の解析:ニホンザル四足歩行への適用	日暮 泰男・熊倉 博雄	2009年10月4日	第63回日本人類学会大会抄録集 89.	
	学会発表 (国内)	書字動作における指の運動解析 2. 児童の書字動作	熊倉 博雄・廣川 容子・日暮 泰男・平崎 鋭矢・安永 雅博・丸山 聡・中谷 泰範	2009年10月4日	第63回日本人類学会大会抄録集 88.	
	学会発表 (国内)	ペンの形状が書字動作に及ぼす影響	廣川 容子・熊倉 博雄・日暮 泰男・平崎 鋭矢・安永 雅博・丸山 聡・中谷 泰範	2009年10月4日	第63回日本人類学会大会抄録集 106.	
	研究会発表	筋電図法を用いた機能形態学的研究の最近の動向—ロコモーションを中心に—	日暮 泰男	2009年7月18日	霊長類研究 25(増補版), xvii.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.7	日暮 泰男	第25回日本霊長類学会大会 優秀ポスター発表賞	日本霊長類学会

42	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦, 八十島 安伸		
	氏名	岡 健司	研究分野名	行動形態学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	足部の進化と歩行	平崎鋭矢, 岡健司	2009年8月1日	リハビリテーション・エンジニアリング, 24: 112-115.	
	学術論文 (国内)	新世界サル固有背筋の機能形態学的研究	熊倉博雄, 岡健司, 廣川容子, 日暮泰男,	(印刷中)	昭和医学会雑誌	○
	学術論文 (国外)	Three-dimensional motion analysis of hindlimb during brachiation in a white-handed gibbon (<i>Hylobates lar</i>)	Oka K, Hirasaki E, Hirokawa Y, Nakano Y, Kumakura H	(印刷中)	American Journal of Physical Anthropology	○
	学会発表 (国内)	霊長類腰方形筋の筋構築(2)	岡健司, 熊倉博雄	2009年10月4日	第63回日本人類学会大会プログラム・抄録集 p.103	
	学会発表 (国内)	テナガザルのブラキエーション時における後肢の三次元運動解析	岡健司, 平崎鋭矢, 熊倉博雄	2009年11月13日	第30回バイオメカニズム学術講演会予稿集 pp.119-122.	
	学会発表 (国内)	霊長類腰方形筋の筋構築(3)	岡健司, 後藤遼佑, 熊倉博雄	2009年3月28日(予定)	第115回日本解剖学会全国学術集会予稿集(印刷中)	
	学会発表 (国内)	各種霊長類における舌下神経核の比較	熊倉博雄, 松本早紀子, 岡健司, 俣野彰三	2009年3月28日(予定)	第115回日本解剖学会全国学術集会予稿集(印刷中)	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	岡 健司	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

43	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦		
	氏名	犬飼 康人	研究分野名	行動形態学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書 (分担執筆)	換気効率改善のアプローチ	犬飼康人・千葉 一雄・堀竜次・他	2010年3月9日(予定)	堀 竜次 編 初学者のための呼吸理学療法テキスト、メディカ出版,p212~219	
	著書 (分担執筆)	呼吸筋トレーニング	犬飼康人・千葉 一雄・堀竜次・他	2010年3月9日(予定)	堀 竜次 編 初学者のための呼吸理学療法テキスト、メディカ出版,p220~225	
	学会発表 (国内)	重症脳卒中患者の抜管後、呼吸管理に影響を及ぼす要因の検討	犬飼康人・堀竜次	2009年5月28日	日本理学療法学会大会, Vol. 2008 (2009), pp.D3P1547-D3P1547	

44	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦, 八十島 安伸	
	氏名	後藤 遼佑	研究分野名	行動形態学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	骨盤出口における総腓骨神経の走行について	後藤遼佑 伊藤純治 大塚成人 熊倉博雄	2009年10月4日	第63回 日本人類学会大会 抄録集 P103

45	指導教員	中道 正之	副指導教員	熊倉 博雄	
	氏名	上野 将敬	研究分野名	比較行動学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	飼育ニホンザル集団における攻撃交渉前の攻撃個体と他個体との親和的行動	上野将敬・山田一憲・ 中道正之	2009年6月23日	霊長類研究Vol.25 supplement
	研究会発表	飼育ニホンザル集団における攻撃交渉前の攻撃個体と被攻撃個体及び第3者個体との毛づくろい交渉と身体接触	上野将敬・山田一憲・ 中道正之	2009年5月9日	ニホンザル研究セミナー

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	上野 将敬	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院 人間科学研究科

46	指導教員	苅阪 満里子	副指導教員	臼井 伸之介	
	氏名	片平 建史	研究分野名	感性情報心理学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表 (国内)	バイオロジカルモーション提示下で行なう合奏に対する身体動作の影響	片平 建史	2009年11月28日	第17回大阪大学保険センター健康科学フォーラム「音楽とウェルネスの学際的融合」発表予稿集

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.2	片平 建史	補助金事業 研究課題C	財団法人 科学技術融合振興財団

47	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	中道 正之	(先端人間科学講座)
	氏名	宮本 匠	研究分野名	心と脳の科学・減災人間科学	学年 DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学術論文 (国内)	災害復興における「巫女の視点」	宮本匠・渥美公秀	2009年8月24日	信学技報,109,5-8
	学術論文 (国外)	Creative Processes of Community revitalization using a Narrative Approach -A Case Study from Chuetsu Earthquake-	Miyamoto, T. & Atsumi, T.	2009年12月11日	Progress in Asian Social Psychology Series, 7, 259-278.
	会報誌	木沢を山の復興の震源に	宮本匠	2009年10月23日	復興デザイン研究, 12, 7
	学会発表 (国内)	復興過程の非連続性について—新潟県中越地震被災者へのインタビュー調査から—	宮本匠・渥美公秀	2009年9月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集, 84
	学会発表 (国内)	災害復興の実践における研究者の役割について—アクションリサーチにおける「巫女の視点」—	宮本匠・渥美公秀	2009年9月19日	第28回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, 127-128
	学会発表 (国内)	被災者による復興過程の意味づけについての研究	宮本匠・渥美公秀	2009年10月10日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 (CD-ROM), 30-33
	学会発表 (国内)	災害復興に関するアクションリサーチ—新潟県中越地震から5年を迎える被災地から—	宮本匠・渥美公秀	2009年10月12日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 (CD-ROM), 1036-1037
	学会発表 (国内)	地域復興における熟度評価の試み	上村靖司・稲垣文彦・ 福留邦洋・澤田雅浩・ 田口太郎・阿部巧・宮 本匠	2009年10月17日	日本災害復興学会2009年度学会大会予稿集,21-24
	学会発表 (国内)	災害からの復興と外部支援者の役割について	宮本匠・渥美公秀	2009年10月17日	日本災害復興学会2009年度学会大会予稿集, 39-42
	学会発表 (国外)	Collective Constructions of a Life Course- A New Tool for Visualizing Disaster Revitalization Processes-	Miyamoto, T. & Atsumi, T.	2009年10月14日	The 9th IIASA-DPRI Conference on Integrated Disaster Risk Management, 64
	学会発表 (国外)	Visualization of Disaster revitalization Processes-Collective Construction of Survivors' Experiences in the 2004 Niigata Chuetsu Earthquake-	Miyamoto, T. & Atsumi, T.	2009年12月14日	Psychological Studies, 54, 327

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.2.2	宮本 匠	中越地震シリーズ・黄色いフラッグ—第4部あたらしい風—	朝日新聞(新潟県内版)

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.9	宮本匠	日本自然災害学会平成21年度学術発表優秀賞	日本自然災害学会

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	宮本匠	科学研究費補助金・特別研究員奨励費	日本学術振興会

48	指導教員	苜阪 満里子	副指導教員	森川 和則	(先端人間科学講座)
	氏名	東 美由紀	研究分野名	心と脳の科学	学年
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	学会発表(国内)	ワーキングメモリと視覚的イメージの相互作用	東 美由紀・苜阪 満里子	2009年11月15日	関西心理学会第121回大会論文集 26.
					MC 1 年次
					審査有無

社会学・人間学系 在籍者 125名 回答者 74名 回答者率 59% 研究成果 有 45名 無 29名 成果有の人数(%) 61%

1	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	川端 亮		
	氏名	栢澤 健史	研究分野名	社会学理論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	「若年不安定就労層と居住地 — 『フリーター』大都市集中説の検証」	栢澤健史	2009年5月1日	ソシオロジ,165号,3-18	○
	学会発表 (国内)	「地域移動からみた地域格差」	栢澤健史	2009年5月9日	第34回地域社会学学会大会	

2	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	木前 利秋		
	氏名	平野 孝典	研究分野名	社会学理論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	Steven F. Messner and Richard Rosenfeld, [1994] 2007, Crime and American Dream, Fourth Edition, Belmont: Wadsworth.	平野 孝典	2009年3月31日	年報人間科学, Vol. 30, 55-60.	
	学会発表 (国内)	制度的アノミー論の可能性	平野 孝典	2009年5月23日	第60回関西社会学学会大会報告要旨集2009, 72.	

3	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	川端 亮		
	氏名	小柏 円	研究分野名	社会学理論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (大学)	大学生・専門学校生の授業への取り組み	小柏 円	2010年2月18日	友枝敏雄編 大衆教育社会における学生の意識——2009年学生調査の計量分析から	
	研究ノート	現代労働問題における「問題性」の抽出	小柏 円	2010年3月(予定)	年報人間科学 第31号	

4	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	川端 亮		
	氏名	渋谷 真美	研究分野名	社会学理論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (大学)	結婚後のライフコース希望	渋谷 真美	2010年2月(予定)	友枝敏雄編 大衆教育社会における学生の意識——2009年学生調査の計量分析から	

5	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	辻 大介		
	氏名	西山 慧	研究分野名	社会学理論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (大学)	消費嗜好と社会観・政治的態度	西山 慧	2010年2月(予定)	学生の生活と価値観に関する調査, 73-90. (印刷中)	
	書評論文	Anthony Elliott and Charles Lemert, The New Individualism: The Emotional Costs of Globalization, Revised ed., Routledge, [2006] 2009	西山 慧	2010年3月(予定)	年報人間科学, 31.(印刷中)	

6	指導教員	木前 利秋	副指導教員	友枝 敏雄		
	氏名	岡田 恭	研究分野名	現代社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	アクセル・ホネット・著”Reification”	岡田 恭	2010年3月(予定)	年報人間科学(印刷中)	○

7	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	宮田 尚子	研究分野名	経験社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書 (分担執筆)	将来設計にみられるジェンダー・トラック	宮田 尚子	2009年6月20日	友枝敏雄編 現代の高校生は何を考えているか:意識調査の計量分析をととして、世界思想社 Pp.139-164..	
	研究ノート	新入社員の仕事満足度の要因分析——役割移行後の適応に対するネットワーク構造の影響	宮田 尚子	2010年3月(予定)	年報人間科学(大阪大学大学院)、31(印刷中)	
	学会発表 (国内)	相談ネットワークの規定要因の日米比較	宮田 尚子	2009年10月11日	第82回日本社会学会大会報告要旨集 p.121	
	学会発表 (国内)	ソシオロジと社会学評論に見る社会学の方法のトレンド1952-2008	太郎丸博・阪口祐介・宮田尚子	2009年10月11日	第82回日本社会学会大会報告要旨集 p.129	
	学会発表 (国内)	新入社員の仕事満足度と相談ネットワーク	宮田 尚子	2009年12月5日	経済社会学会 西部部会研究会	
	研究会発表	SSM若年調査の標本の代表性——性年齢、学歴、従業上の地位	宮田 尚子	2009年9月4日	SSM図書刊行研究会(社会移動部会第3回研究会)	
	研究会発表	社会的ネットワークを切り離す要因——若年層インターネット調査を用いて	宮田 尚子	2010年1月11日	SSM図書刊行研究会全体集会	
	研究セミナー	StataとRを用いたNegative Binominal Regression分析——JGSS-2003のネットワークモジュールを利用して	宮田 尚子	2009年11月23日	2009年度第2回 JGSS計量分析セミナー	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	宮田尚子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科
2009.9	宮田尚子	高等教育・学生研究センター 特別研究員(DC)	学校法人 同志社 同志社大学 高等研究教育機構

8	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	平尾 一郎	研究分野名	経験社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	世代間移動研究における機会の平等の再検討——アダム・スウィフトの完全移動批判を参考に	平尾 一郎	印刷予定	年報人間科学、31	○

9	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	李 容玲	研究分野名	経験社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	日本人と外国人の共生を促す決定要因について	李 容玲	2009年3月	JGSSで見た日本人の意識と行動、8, 121-140.	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2010.1	李 容玲	大学院生調査研究助成	大阪大学人間科学研究科グローバルCOEプログラム

10	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	久山 健太	研究分野名	経験社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	CHINESE AMERICAN NAMES Tradition and Transition By EMMA WOO LOUIE	久山 健太	2010年3月(予定)	年報人間科学、31、2010年(印刷中)	

11	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	永吉 希久子	研究分野名	先進経験社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	多文化状況における社会統合に対する信頼感の影響:JGSS-2008の分析から	永吉希久子	2010年3月(予定)	JGSS研究論文集 10(印刷中)	
	学術論文 (国外)	Support of Multiculturalism, but for Whom?: Effects of Ethno-National Identity on the Endorsement of Multiculturalism in Japan	Kikuko Nagayoshi	印刷中	Journal of Ethnic and Migration Studies(印刷中)	○
	学会発表 (国外)	Effects of Welfare Policies on Anti-Immigrant Attitudes:Differences between Active Policies and Passive Xenophobia as "Banal Nationalism": Relationships between Anti-Immigrant Attitudes and Social Security	Kikuko Nagayoshi	2009年8月9日	The 104th Annual Meeting of the American Sociological Association, San Francisco, CA	○
	研究会発表		Kikuko Nagayoshi	2009年4月15日	Seminar in Malmo Institute for Studies of Migration, Diversity, and Welfare	

12	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	田藤 裕祐	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国外)	Specifying Relationship between Job Conditions and Psychological States: Comparative Analysis of Japanese and American Workers	Yusuke TANABIKI, Yusuke SAKAGUCHI, Sho FUJIHARA, Masahiro HAYASHI, Scott NORTH and Toru KIKKAWA	2009年8月1日	the 104th annual meeting of American Sociological Association	

13	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	藤原 翔	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	現代高校生と母親の教育期待—相互依存モデルを用いた親子同時分析	藤原翔	2009年9月30日	理論と方法	○
	学会発表 (国内)	社会階層と高校選択	藤原翔	2009年9月12日	日本教育社会学会第61回大会発表要旨集録	
	学会発表 (国内)	教育達成の階級間格差の趨勢	藤原翔	2009年9月19日	第48回数理社会学会発表要旨集録	

14	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	赤枝 尚樹	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (大学)	Likert尺度で計測される意識の変容についての基礎的分析	赤枝尚樹	2009年3月31日	職業と家族とパーソナリティについての同一パネル長期追跡調査報告書, 151-171.	
	紀要論文	人はなぜ賭けるのか—不確実性から得られる満足感・期待感に関する心理学的・社会学的研究の動向と展望	赤枝尚樹・森川和則	2010年3月(予定)	人間科学研究科紀要, 36, 19-37.(印刷中)	
	学会発表 (国内)	権威主義的伝統主義における地域文脈効果の検討—マルチレベルモデルを用いて	赤枝尚樹	2009年5月23日	第60回関西社会学会大会報告要旨 21.	
	学会発表 (国内)	非通念的結婚観に対する都市効果の再検討—マルチレベルモデルを用いて	赤枝尚樹	2009年10月11日	第82回日本社会学会大会報告要旨 199.	

15	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	高松 里江	研究分野名	社会データ科学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書 (分担執筆)	パス解析	高松里江・吉川徹	2010年3月(予定)	川端亮編 データアーカイブSRDQで学ぶ社会調査の計量分析、ミネルヴァ書房(印刷中)	
	学会発表 (国内)	既婚女性のライフコースと中高年期の社会意識—長期追跡パネル調査の結果報告(1)	吉川徹・乾順子・高松里江・三谷はるよ	2009年9月12日	第19回日本家族社会学会大会報告要旨, 45-46	
	学会発表 (国内)	—長期追跡パネル調査の結果報告(2)	高松里江・三谷はるよ・乾順子・吉川徹	2009年9月12日	第19回日本家族社会学会大会報告要旨, 47-48	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.6	高松里江・竹内慶至	医療専門職の感情労働をめぐるコンフリクトに関する調査研究	大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」

16	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	伊藤 理史	研究分野名	社会データ科学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究ノート	一九八五年と二〇〇四年の二時点比較における政党支持態度の規定構造分析	伊藤 理史	(印刷中)	年報人間科学第31号	

17	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	三谷 はるよ	研究分野名	社会データ科学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	女性の専門ケア志向の縦断的分析	三谷 はるよ	2010年3月31日(予定)	年報人間科学 第31号(印刷中)	○
	報告書(大学)	主婦の同別居意識の時点間変容	三谷 はるよ	2009年3月31日	職業と家族とパーソナリティについての同一パネル長期追跡調査 平成16年度~19年度科学研究費補助金(基盤研究(A))研究成果報告書 221-224	
	学会発表(国内)	既婚女性のライフコースと中高年期の社会意識—長期追跡パネル調査の結果報告①—	吉川徹・乾順子・高松里江・三谷はるよ	2009年9月12日	第19回日本家族社会学会大会報告要旨 45-46	
	学会発表(国内)	既婚女性の同居・ケア意識の変容—長期追跡パネル調査の結果報告②—	高松里江・三谷はるよ・乾順子・吉川徹	2009年9月12日	第19回日本家族社会学会大会報告要旨 47-48	

18	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	久保田 裕之	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	「家族の多様化」論再考—家族概念の分節化を通じて	久保田 裕之	2009年4月	家族社会学研究、21(1):78-90	○
	著書(単著)	他人と暮らす若者たち	久保田 裕之	2009年11月22日	集英社	
	著書(編著)	若者の自立/自律と共同性の創造—シェアハウジング	久保田 裕之	2009年12月10日	牟田和恵編、家族を超える社会学—新しいつながりと生の基盤、新曜社:104-136	
	学会発表(国内)	非家族家計の社会経済分析—シェアハウジング家計からみる家計・家族・世帯	久保田 裕之	2009年4月18日	第6回フェミニスト経済学会大会:予稿集	
	学会発表(国内)	コモンズとしての住居—私的領域のなかの私有と共有	久保田 裕之	2009年10月12日	第82回日本社会学学会大会:報告要旨集	
	学会発表(国内)	ベーシック・インカムと居住・生活・ケアの単位	久保田 裕之	2009年11月1日	第119回社会政策学会大会:テーマ別分科会報告要旨集	
	学会発表(国内)	Unweaving Family Welfare	久保田 裕之	2009年11月22日	京都大学グローバルCOE第2回次世代グローバルワークショップ報告:要旨集	
	研究会発表	家族福祉の解体—家族/個人の政策単位論争を超えて	久保田 裕之	2009年10月24日	関西家族社会学研究会(KAFS):報告	
	文献紹介	マーサ・A・ファインマン著/穂田信子・速水葉子訳「ケアの絆—自律神話を超えて」	久保田 裕之	2009年10月	『家族社会学研究』、21(2):249	

19	指導教員	牟田 和恵	副指導教員			
	氏名	藤田 嘉代子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次

<その他:座談会>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.10	藤田嘉代子、皆川みずゑ、大橋由香子、海峯径子	座談会「つながる?つながれない<女>と<女>」	インパクション171号 p18~39

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2008~2009年度	藤田嘉代子	未来を築く子育てプロジェクト女性研究者への支援	住友生命

20	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	白岩 優姫	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書(分担執筆)	第2章 コラム 出産と家族—「このとりのゆりかご」	白岩優姫	2009年12月1日	牟田和恵編集『家族を超える社会学—新たな生の基盤を求めて』新曜社、p64-66	

21	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	Scott North、辻大介		
	氏名	KIM VIKTORIYA	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	Agency in the Lives of Women from the Former Soviet Union with Japanese Spouses	Viktoriya Kim	2009年11月7日	The Anthropology of Japan in Japan Annual Meeting 2009 Civil Society and Citizenship in MultiNational/MultiCultural Japan	

22	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	玉城 福子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	周辺住民の語りを見る地域社会の中の「慰安婦」	玉城福子	2009年6月21日	女性・戦争・人権学会第11回大会	

23	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	山本 ベヴァリー・アン		
	氏名	FERMIN TRICIA ABIGAIL SANTOS	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究ノート	Yaoi: Voices from the Margins	FERMIN, Tricia Abigail Santos	印刷中	年報人間科学31号	
	学会発表 (国外)	Yaoi's Pleasurable Transgressions: An Exploratory Study on the Yaoi Fandom in the Philippines	Tricia Abigail Santos FERMIN	2009年10月22日	The 2nd International Conference of the Japan Studies Association in Southeast Asia (JSA-ASEAN)	

24	指導教員	山中 浩司	副指導教員	牟田 和恵		
	氏名	竹内 慶至	研究分野名	文化社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書 (分担執筆)	友人関係は希薄化しているのか	竹内慶至	2009年6月20日	友枝敏雄編『現代の高校生は何を考えているか』世界思想社, 38-60.	
	学会発表 (国内)	『看護職観』の世代間比較分析 — 看護師は自分の仕事をどうとらえているか? —	竹内慶至	2009年5月16日	第35回日本保健医療社会学会大会	
	学会発表 (国内)	『感情労働としてのケア』再考 — 看護師への聞き取り調査から	竹内慶至	2009年6月7日	第7回福祉社会学会大会	○
	研究会発表	ケアの構成と医療専門職—「ケアの社会学」は何を問うべきか?—	竹内慶至	2009年3月7日	立命館大学GCOEプログラム「生存学」創成拠点・ケア研究会	
	研究会発表	ケアが作られるとき—専門職、労働、組織—	竹内慶至	2009年3月14日	日本保健医療社会学会・看護研究部会	

25	指導教員	山中 浩司	副指導教員	斉藤 弥生		
	氏名	真柄 希里穂	研究分野名	文化社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	諸外国における精神科救急トリアージについての文献研究	真柄 希里穂	2010年3月(印刷中)	日本福祉教育専門学校研究紀要	○
	学会発表 (国内)	精神科救急における「コールトリアージ」技術の課題—患者にとっての医療アクセスの保障—	真柄 希里穂	2009年10月11日	第2回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、51	
	研究会発表	NICHE(隙間)障害へ精神科からの挑戦—CATCH22事例から—	早乙女 弥生・真柄 希里穂	2010年3月6日(印刷中)	臨床ソーシャルワーク研究会	

26	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	久保 恵理子	研究分野名	共生社会論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	スウェーデンの認知症介護における家族介護者とその支援の現状	久保 恵理子	2010年3月(印刷中)	地域福祉研究	○

27	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三		
	氏名	青木 千帆子	研究分野名	共生社会論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	障害学の動向と到達点: Disability & Societyを手がかりに	安岡愛理・青木千帆子・秋風千恵・佐藤貴宣・松原崇	2009年3月	年報人間科学30号 113-128	○
	学術論文 (国内)	『障害者』の無力化に規範が及ぼす影響—就労場面を通じた分析	青木千帆子、渥美公秀	2009年7月1日	障害学研究 5 164-186	
	翻訳	ビギニング・コミュニケーターのための事例集.AACの観点から	ジョン・レイチェル デイビッド・バッケルマン ジャニス・C・ライト(編著) 望月昭、武藤崇、吉岡昌子、青木千帆子(監訳)	2009年3月31日	福村出版	
	学会発表 (国内)	障害者労働の場にある交換に関する人類学的試論	青木千帆子、渥美公秀	2009年9月1日	障害学会第6回大会 立命館大学	
	学会発表 (国内)	自立というジレンマ I : 新聞記事分析から	青木千帆子、渥美公秀	2009年10月11日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 大阪大学	
	学会発表 (国内)	自立というジレンマ II : 障害者労働の現場から	青木千帆子、渥美公秀	2009年10月12日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 大阪大学	
	学会発表 (国内)	労働者(あなた)にとって障害者(わたし)とはだれか	青木千帆子	2009年11月7日	対人援助学会第1回大会 立命館大学	
	一般紙における解説	《うおろ君の気にな〜る☆ゼミナ〜ル》心身障害者用低料第三種郵便物2009年6月	青木千帆子・ラッキー植松	2009年6月1日	Volo 6月号(通巻446号)	
	一般紙における記事	《特集》献体	青木千帆子・小笠原慶彰・岡村こずえ	2009年7月1日	Volo 7・8月号(通巻447号)	

28	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三		
	氏名	堀江 尚子	研究分野名	地域共生論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	生活保護施設の利用者の変容と近隣地域との関係形成:アフターケアの基礎となる大阪市更生施設の取り組み	堀江尚子	2009年10月30日	ホームレスと社会,1,66-75.	○
	学会発表 (国内)	ホームレス支援者の規範	堀江尚子・渥美公秀・水内俊雄	2009年8月27日	ホームレス支援者の規範 日本心理学会第73回大会発表論文集, 250.	
	学会発表 (国内)	ホームレス支援全国ネットワークの形成過程と集合性	堀江尚子・渥美公秀	2009年10月11日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第56回大会合同大会 論文集CDROM	
	学会発表 (国内)	ホームレス経験者 彼らのエートス	堀江尚子・渥美公秀	2009年10月12日	日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第57回大会合同大会 論文集CDROM	

29	指導教員	渥美 公秀	副指導教員			
	氏名	松田 久雄	研究分野名	地域共生論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	介助導尿施行介護人の介護負担度調査	松田久雄, 植村天受, 渥美公秀	2009年5月18日	第22回日本老人泌尿器科学会、京都	
	学会発表 (国内)	高齢者の排尿管理—介護現場の排尿管理におけるナラティブの展望—	松田久雄, 植村天受, 渥美公秀	2009年7月18日	日本泌尿器科臨床医学会学術総会、横浜	
	学会発表 (国内)	高齢者の排尿管理、特に排尿ケアの社会的検証	松田久雄, 植村天受, 渥美公秀	2009年10月30日	第59回日本泌尿器科学会中部総会、金沢、	
	学会発表 (国外)	The present conditions of the dysuria patients in Japan	Hisao Matsuda, Kimihide Atumai	2008, July	The 24th International congress of psychology, Berlin, Germany	

30	指導教員	中山 康雄	副指導教員	檜垣 立哉		
	氏名	福田 佑二	研究分野名	論理科学・科学基礎論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究ノート	文脈主義と不変主義: 叙実的知識帰属という観点から	福田佑二	2010年3月	年報人間科学 第31号(印刷中)	
	学会発表 (国内)	認識的文脈主義と認識論について	福田佑二・中山康雄	2009年6月14日	科学基礎論学会2009年度講演会	
	学会発表 (国内)	Dynamic Contextualism in Semantics and in Epistemology	Yasuo Nakayama, Yuji Fukuta	2009年11月20日	Logic and Engineering of Natural Language Semantics 6	
	学会発表 (国内)	関心相対普遍主義と帰属者文脈主義	福田佑二・中山康雄	2009年11月22日	日本科学哲学会 第42回大会	

31	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	小林 卓也	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	翻訳	カレル・ノヴォトニー、「《現象以外の何ものでもないもの》からの超越論的現象学の鑄直し——マルク・リシールの作品における現象性の概念についての試論——」	小林卓也	2010年1月26日	大阪大学人間科学部基礎人間科学講座ワークショップ	○
	翻訳	エティエンヌ・バンブネ、「メルロ＝ポンティと人間学的差異の問題」	小林卓也	未定	『年報人間科学』第31号、2010年(印刷中)	

32	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	佐古 仁志	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	ギセリンの種の個物説とリードの生態学的アプローチ	佐古 仁志	2010年3月(予定)	年報人間科学, 31(印刷中)	
	学会発表	習慣形成としての<情報>の身体化——パースとの関連で——	佐古 仁志	2009年5月17日	日本記号学会第29回大会	
	学会発表	進化と発達についての生態学的アプローチと発達システム論: Thelen, Gottlieb, Ghiselin からの展開	丸山慎、青山慶、佐古仁志	2009年8月28日	日本心理学会第73回大会	
	研究会発表	<情報>とその身体化としての習慣——生態心理学とパースの記号論——	佐古 仁志	2009年7月31日	生態学的環境研究会	
	指定討論者	Questions for Tony Chemero	佐古 仁志	2009年12月13日	「ラディカルな身体性認知科学(Radical Embodied Cognitive Science)」トニー・チェメロ(Tony Chemero)講演会	

33	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員			
	氏名	橘 真一	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表	ジルベール・シモンドンの個体化論について	橘真一	2009年4月23日	シモンドン研究会(於:神戸大学)	
	研究会発表	ベルクソンとシモンドン——個体化論比較からの一考察	橘真一	2010年3月28日	ベルクソン哲学研究会(於:京都大学)	

34	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	森 元斎	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	ホワイトヘッド哲学における生成と主体	森元斎	2010年3月(予定)	年報人間科学	○
	翻訳	持続と同時性——ホワイトヘッドとベルクソンにおける時間的パースペクティブと相対論的時間——	森元斎・檜垣立哉	2009年12月1日	思想 岩波書店 No.1028 pp.250-278	
	翻訳	我々の有限性をどうするか?——パディウによるサルトルとフォーコーの読み直し——	森元斎	2009年6月1日	現代思想 青土社 37-7号 pp.234-245	
	研究会発表	『持続と同時性』をめぐる言説——回顧と展望、ホワイトヘッドとの関わり	森元斎	2009年3月22日	京都大学	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009年5月	森元斎	不器用であること	『Raku』、京都造形芸術大学芸術館GALLERY RAKU
2010年2月	森元斎	冬を空中散歩する	『空中散歩パピエ』、空中散歩編集部

35	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	劉 静瑜	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	『和辻哲郎——人格から問柄へ』	劉 静瑜	2010年3月(予定)	『年報人間科学』第31号(印刷中)・	

36	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	村上 靖彦		
	氏名	小倉 拓也	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	書評「James Williams, Gilles Deleuze's Logic of Sense」	小倉拓也	2010年3月予定	『年報人間科学』(第31号)	
	翻訳	「ショーペンハウアーとニーチェの読者としてのベルクソンの問題」	アルノー・フランソワ 著／小倉拓也訳	2010年3月予定	『年報人間科学』(第31号)	

37	指導教員	檜垣立哉	副指導教員	村上靖彦		
	氏名	宮澤由歌	研究分野名	基礎人間学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	Leo Bersani and Adam Phillips, Intimacies, The University of Chicago Press, 2008	宮澤由歌	2010年3月31日	年報人間科学	
	学会発表 (国内)	レオ・ベルサーニと精神分析—— impersonal narcissism概念をめぐって	宮澤由歌	2009年10月18日		

38	指導教員	Wolfgang Schwentker	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	大和田 範子	研究分野名	文明動態学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	翻訳	『裏千家茶道』『茶の歴史』本文一部英訳	大和田範子	2010年秋期発行(印刷中)	千宗室・千玄室 監修 『裏千家茶道』(英訳本) 財団法人「今日庵」(原著『裏千家茶道』(平成二十年 第三版)「茶の歴史」	

39	指導教員	Schwentker Wolfgang	副指導教員			
	氏名	友廣 政夫	研究分野名	文明動態学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	その他 (訳注)	訳注	友廣 政夫		中国研究集刊	

40	指導教員	小泉 潤二	副指導教員	中川 聡		
	氏名	テロンアンドレア	研究分野名	人類学	学年	MC 2 年次

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	テロンアンドレア	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

41	指導教員	栗本 英世	副指導教員			
	氏名	唐澤 佑子	研究分野名	人類学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	講演	Gypsy problem and discrimination in Czech society	Yuko Karasawa	2009年12月10日	Center for Economic Research and Graduate Education-Economics Institute, Prague, Czech Republic	

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	唐澤 佑子	学生海外短期研究留学助成	大阪大学
2009.7	唐澤 佑子	Scholarships of the Ministry of Education, Youth and Sports in Support of Foreign Nationals	Charles University in Praha

42	指導教員	栗本 英世	副指導教員	春日 直樹		
	氏名	松崎 遼子	研究分野名	人類学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究ノート	現代韓国における迷信打破運動: 一部のプロテスタントと非キリスト教徒間の摩擦	松崎遼子	印刷中	コンフリクトの人文科学, 2, 319-340.	○
	研究会発表 (国外)	現代韓国における迷信打破運動に関する考察	松崎遼子	2009年8月16日	釜山日本地域研究会 夏季定例会	

43	指導教員	春日 直樹	副指導教員	栗本 英世		
	氏名	藤井 真一	研究分野名	人類学	学年	DC 1 年次

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.1	藤井 真一	大学院生調査研究助成	大阪大学人間科学研究科グローバルCOEプログラム

44	指導教員	春日 直樹	副指導教員	栗本 英世		
	氏名	李 豪軒	研究分野名	人間と文化	学年	DC 2 年次

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	李 豪軒	大学院生調査研究助成	大阪大学人間科学研究科グローバルCOEプログラム

45	指導教員	春日 直樹	副指導教員	森田 敦郎		
	氏名	松本 篤	研究分野名	人間と文化	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	つたなさのテクノロジー - AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ] の実践 -	西川勝、松本篤	2009年8月1日	Communication-Design [2] (大阪大学出版会)	○
	国際美術展報告書	AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ] について	福岡アジア美術館、松本篤	2009年9月5日	第四回福岡アジア美術トリエンナーレ2009 - 再共生 - 公式カタログ (福岡アジア美術館)	
	国際美術展報告書	第四回福岡アジア美術トリエンナーレでのAHA!の取り組みの報告	福岡アジア美術館、松本篤	2010年3月31日(予定)	第四回福岡アジア美術トリエンナーレ2009 - 再共生 - 活動報告書 (福岡アジア美術館)	
	学会誌	映像がつなぐ記憶・ヒト・地域 - AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ] の実践 -	松本篤	2009年10月5日	アートミーツケア学会ニュースレターvol.5 (アートミーツケア学会)	
	シンポジウム発表	記憶の大大阪 - 実像と虚像	松本篤	2009年6月13日	昭和12年のモダン都市へ - 都市大阪の虚像と実像 - (主催:大阪大学総合学術博物館、大阪歴史博物館)	
	シンポジウム発表	地域映像アーカイブ、AHA!の実践について	松本篤	2009年8月2日	まちの記憶 地域のくらし映像アーカイブ(文化庁、せんだいメディアテーク)	
	国際美術展での口頭発表	第四回福岡アジア美術トリエンナーレでのAHA!の取り組みの報告	宮本博史、太田梢、松本篤	2009年11月23日	第四回福岡アジア美術トリエンナーレ2009 (福岡アジア美術館)	
	シンポジウム発表	大阪市浪速区における映像アーカイブ事業の報告	松本篤	2009年12月6日	映像で地域を語ろう(長野県)	
	国際シンポジウム発表	The Meaning of Being Local in the Communication Via Moving Images - The Case of AHA! Visual Archive Project -	Atsushi Mtsumoto	2009年12月11日	The 13th Kyoto University International Symposium New Horizons of Academic Visual-Media Practices (Kyoto University)	
	国際シンポジウムプログラム&原稿集	The Meaning of Being Local in the Communication Via Moving Images - The Case of AHA! Visual Archive Project -	Atsushi Mtsumoto	2009年12月13日	The Program & Abstracts of The 13th Kyoto University International Symposium New Horizons of Academic Visual-Media Practices (Kyoto University)	
	国際シンポジウム報告書	The Meaning of Being Local in the Communication Via Moving Images - The Case of AHA! Visual Archive Project -	Atsushi Mtsumoto	2010年3月31日(予定)	The Report of The 13th Kyoto University International Symposium New Horizons of Academic Visual-Media Practices (Kyoto University)	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.7	松本篤	平成21年度文化芸術による創造のまち支援事業(主催:文化庁)の取り組みについて	河北新報
2009.11	松本篤	第四回福岡アジア美術トリエンナーレの取り組みについて	天神エフエム
2009.11	松本篤	第四回福岡アジア美術トリエンナーレの取り組みについて	cross fm
2009.11	松本篤	第四回福岡アジア美術トリエンナーレの取り組みについて	九州国際エフエム
2009.11	松本篤	第四回福岡アジア美術トリエンナーレの取り組みについて	テレビ西日本
2009.11	松本篤	第四回福岡アジア美術トリエンナーレの取り組みについて	NHK
2009.12.3	松本篤	長野県デジタルアーカイブ推進事業について	信濃毎日新聞
2009.12.6	松本篤	長野県デジタルアーカイブ推進事業について	信濃毎日新聞

教育学系 在籍者 121名 回答者 91名 回答者率 75% 研究成果 有 55名 無 36名 成果有の人数(%) 60%

1 指導教員	藤川 信夫	副指導教員			
氏名	國崎 大恩	研究分野名	教育人間学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
著書 (分担執筆)	「教師の研修」	國崎大恩	2009年4月1日	田井康雄編『新教育職の研究—新たな教育環境に生きる教師のあり方』学術図書出版社	○
研究論文	教育思想における構造主義の問題 圏—抵抗から行為の組織化へ—	國崎大恩	2010年3月予定	大阪大学教育学年報 第14号	

2 指導教員	藤川 信夫	副指導教員	木村 涼子		
氏名	渋谷 亮	研究分野名	教育人間学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文 (国内)	フロイトの科学と終わりなき回帰	渋谷亮	2008年9月12日	近代教育フォーラム、17、pp.83-92	○
著書 (分担執筆)	発達のお話・家族のお話	渋谷亮	2009年1月24日	平野正久編、教育人間学の展開、北樹出版、pp.53-70	
著書 (分担執筆)	児童相談所指導員	渋谷 亮	2009年4月1日	田井康雄編『新教育職の研究—新たな教育環境に生きる教師のあり方』学術図書出版、224-236頁	
学会発表 (国内)	エディプス論再考	渋谷亮	2008年10月25	教育哲学会第51回大会	

3 指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	志村 剛		
氏名	岡本 尚子	研究分野名	教育工学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文 (国内)	授業場を想定した学習過程時の NIRSによる脳活動の特徴 —小学生を対象とした虫食い算課 題におけるヒント提示実験を通して—	岡本 尚子・黒田 恭 史・前迫 孝憲・江田 英雄	2009年3月31日	教育実践学研究Vol.10.No.2:11-20	○
学術論文 (国外)	Practical Research of Education and Brain Science	Naoko Okamoto, Takanori Maesako	2009年9月29日	Brain Topography and Multimodal Imaging: 133-135	○
著書 (分担執筆)	評価と学力調査	岡本 尚子	2010年4月(予定)	黒田恭史編著 初等算数科教育法、ミネル ヴァ書房	
学会発表 (国内)	ヒトを対象とした脳活動計測研究の 国際的動向	岡本 尚子	2009年6月14日	数学教育学会夏季研究会発表論文集:1-4	
学会発表 (国内)	個々人の学習を下支えする隠れた ICTの活用—シンガポールの教育 制度を事例として—	黒田恭史・岡本尚子・ 前迫孝憲・江田英雄	2009年9月19日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文 集:951-952	
学会発表 (国内)	光計測装置による脳活動データ波 形の分析	岡本尚子・黒田恭史・ 前迫孝憲・江田英雄	2009年9月19日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文 集:965-966	
学会発表 (国内)	算数課題解決過程における方略変 更時の脳活動変化	岡本尚子・黒田恭史	2009年9月25日	数学教育学会秋季例会発表論文集:213-215	
学会発表 (国内)	大脳生理学的手法による論理教育 の構築に向けて	竹歳賢一・黒田恭史・ 岡本尚子	2009年9月25日	数学教育学会秋季例会発表論文集:228-230	
学会発表 (国内)	脳活動計測による問題解決過程の 分析と教育への応用	岡本 尚子	2010年3月6日(予定)	JSiSE(教育システム情報学会)学生研究発 表会発表論文集:(印刷中)	○
学会発表 (国内)	算数学習における情意面指標とし ての脳活動データの可能性	岡本尚子・黒田恭史	2010年3月25日(予定)	数学教育学会春季年会発表論文集:(印刷 中)	
学会発表 (国外)	Usability of NIRS data for analyzing student learning	Naoko Okamoto	2009年10月19日	Society for Neuroscience 2009: 473.12/EE122	○
学会発表 (国外)	Mathematics Educational Study Using Brain Activity Data as Biological Information	Yasufumi Kuroda, Naoko Okamoto, Kenichi Taketoshi	2009年11月21日	The 6th International Conference on Mathematics Education and Cultural History of Mathematics in this Global Information Society: 87-92	○
学会発表 (国外)	The assessment of effectiveness of hints given while solving mathematical tasks using brain activity data	Yasufumi Kuroda, Naoko Okamoto	2010年2月18日	Leaning and the brain society	○
研究会発表	算数課題を用いた光脳機能イメー ジング実験	岡本尚子・前迫孝憲	2009年7月18日	第11回 日本光脳機能イメージング研究会抄 録集:13	

< 研究助成 >

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	岡本 尚子	科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	日本学術振興会

4 指導教員	前迫 孝憲	副指導教員			
氏名	奥林 泰一郎	研究分野名	教育工学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文 (国内)	国際交流学習実現のための枠組み - コーディネーターの視点から -	奥林泰一郎	2009年3月	大阪大学教育学年報, 14, 37-49.	○
学術論文 (国内)	遠隔交流学習環境を理解するための教員研修 - 「超鏡」を例とした一検討 -	中澤明子, 重田勝介, 奥林泰一郎	2010年3月(予定)	大阪大学教育学年報, 15.(印刷中)	○
学会発表 (国内)	PCとフリーウェアを活用した低帯域HD遠隔教育システムの開発	松河秀哉, 中澤明子, 奥林泰一郎	2009年9月20日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集, 697-698.	
学会発表 (国内)	PCとフリーウェアを活用した低帯域HD遠隔教育システムの評価	中澤明子, 松河秀哉, 奥林泰一郎	2009年9月20日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集, 699-700.	
学会発表 (国内)	電子掲示板を用いた英語によるコミュニケーションに関する調査 - 国際交流学習プロジェクトを事例として -	奥林泰一郎, 中澤明子, スpens ゼオースキ, 上田明久, 新川壯光, 前迫孝憲	2009年9月21日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集, 839-840.	
学会発表 (国内)	高精細映像を用いた「超鏡」による遠隔学習環境	中澤明子, 奥林泰一郎, 森秀樹, 上田明久, 前迫孝憲, 中尾正博, 佐藤哲夫, 高山慎一郎, 川杉照雄, 橋本剛正, 森川治	2009年9月21日	日本教育工学会第25回全国大会講演論文集, 47-50.	○
学会発表 (国外)	Innovative Educational Technology Use and Project-Based Learning in Japan	Spence Zaorski, Osaka University with Takanori Maesako	2009年7月1日	National Educational Computing Conference 2009	○
学会発表 (国外)	Applying High-Definition "HyperMirror" to Distance Learning Utilizing "KIZUNA"	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Hideki Mori, Takanori Maesako, Osamu Morikawa, Masahiro Nakao, Naoya Tomii, Tomonori Kuroda, Tetsuo Sato, Teruo Kawasugi, Gousei Hashimoto	2009年7月9日	27th International Symposium on Space Technology and Science, 2009-j-19p pp.1-6.	○

5 指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	井村 修		
氏名	張 海	研究分野名	教育工学	学年	DC 3 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文 (国外)	日本移動学習実践研究前沿	張海・李馨	2009年9月1日	中国電化教育, 2009. 9, 1-6	○
学術論文 (国外)	国内青年教育技術研究者現状の小生境研究及其潜在応用	張海・王以寧	2010年3月予定	開放教育研究(印刷中)	○
研究論文	Exploratory Study of Widespread Practica of ICT-Enhanced Education	Hai Zhang, Kekang He	2010年3月予定	大阪大学教育学年報2009年第14号(印刷中)	○
学会発表 (国内)	携帯電話など複数の電子媒体を併用したCSCLの実践について考察.	張海	2009年9月1日	2009年日本教育工学会全国大会論文集, 995-996	
学会発表 (国内)	Practical Study of ICT-Enhanced Learning in Primary Schools.	Hai Zhang, Kekang He	2009年9月1日	2009年日本教育工学会全国大会論文集, 1019-1020	
学会発表 (国内)	Scratchを用いた小学校情報授業のデザインと実践	森秀樹・杉澤学・張海・前迫孝憲	2009年9月1日	2009年日本教育工学会全国大会論文集, 671-672	
学会発表 (国外)	和教育現場持続対話的学習型組織的可能性	張海・前迫孝憲	2009年7月1日	情報技術教育研究進展2009: 第三回中日教育技術学研究与発展フォーラム論文集, 234-238	○
学会発表 (国外)	HD映像を用いた超鏡(HyperMirror)による学校間交流の実施—小学校低学年を対象とした交流を取り上げて(日本語Version)	中澤明子・奥林泰一郎・森秀樹・張海・劉威・前迫孝憲・上田明久・中尾正博・佐藤哲夫・高山慎一郎・川杉照雄・橋本剛正・森川治	2009年7月1日	情報技術教育研究進展2009: 第三回中日教育技術学研究与発展フォーラム論文集, 220-224	○
学会発表 (国外)	HD映像を用いた超鏡(HyperMirror)による学校間交流の実施—小学校低学年を対象とした交流を取り上げて(中国語Version、訳者)	中澤明子・奥林泰一郎・森秀樹・張海・劉威・前迫孝憲・上田明久・中尾正博・佐藤哲夫・高山慎一郎・川杉照雄・橋本剛正・森川治	2009年7月1日	情報技術教育研究進展2009: 第三回中日教育技術学研究与発展フォーラム論文集, 225-229	○
学会発表 (国外)	Wii mote Positioning System (WPS)の開発と教育応用の可能性.	中野由章・辰己丈夫・張海	2009年7月1日	情報技術教育研究進展2009: 第三回中日教育技術学研究与発展フォーラム論文集, 230-233	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.7.1	楊絮・張海	第二屆“汉语橋”世界中学生中文比賽西日本預賽在立命館大學舉行	「中日新報」
2009.8.15	楊絮・張海	“中國教育政策和危機時期的對應”教育研究會在大阪大學舉行	「中日新報」
2009.9.15	楊絮・張海	第八屆“汉语橋”世界大學生中文比賽與優勝者祝賀會在大阪舉行	「中日新報」
2009.11.15	楊絮・張海	留學生日本就職支援現場直擊—日本經產省・文部省亞洲人財資金構想“高度實踐留學生育成事業”	「中日新報」
2010.2.7	楊絮・張海	華南師範大學教育技術學知名學者徐曉東講演會在大阪召開	「中日新報」

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2009.11	Hai Zhang・Takanori Maesako	中国留日同学会論文賞	中国留日同学会、中国駐大阪総領事館

6	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	辻岡 圭子	研究分野名	教育工学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表(国内)	視覚・聴覚メディアが理解や判断に及ぼす影響	辻岡圭子・辻岡光宏・前迫孝憲	2009年8月21日	第34回教育システム情報学会全国大会	

7	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員		(先端人間科学講座)	
	氏名	中澤 明子	研究分野名	コミュニケーションメディア	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	遠隔交流学習環境を理解するための教員研修—「超鏡」を例とした一検討—	中澤明子・重田勝介・奥林泰一郎	2010年3月1日	大阪大学教育学年報, 15(印刷中)	○
	学会発表(国内)	高精細映像を用いた「超鏡」による遠隔学習環境	中澤明子・奥林泰一郎・森秀樹・上田明久・前迫孝憲・中尾正博・佐藤哲夫・高山慎一郎・川杉照雄・橋本剛正・森川治	2009年9月21日	第25回日本教育工学会全国大会講演論文集 pp47-50.	○
	学会発表(国内)	電子掲示板を用いた英語によるコミュニケーションに関する調査—国際交流学習プロジェクトを事例として—	奥林泰一郎・中澤明子・スペンス ゼオースキ・上田明久・新川壯光・前迫孝憲	2009年9月21日	第25回日本教育工学会全国大会講演論文集 pp839-840.	
	学会発表(国内)	PCとフリーウェアを活用した低帯域HD遠隔教育システムの開発	松河秀哉・中澤明子・奥林泰一郎	2009年9月20日	第25回日本教育工学会全国大会講演論文集 pp697-698.	
	学会発表(国内)	PCとフリーウェアを活用した低帯域HD遠隔教育システムの評価	中澤明子・松河秀哉・奥林泰一郎	2009年9月20日	第25回日本教育工学会全国大会講演論文集 pp699-700.	
	学会発表(国外)	Applying High-Definition “HyperMirror” to Distance Learning Utilizing “KIZUNA”	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Hideki Mori, Takanori Maesako, Osamu Morikawa, Masahiro Nakao, Naoya Tomii, Tomonori Kuroda, Tetsuo Sato, Teruo Kawasugi, Gousei Hashimoto	2009年7月9日	27th International Symposium on Space Technology and Science, 2009-j-19p pp.1-6	○
	学会発表(国外)	Innovative Educational Technology Use and Project-Based Learning in Japan	Spence Zaorski, Osaka University with Takanori Maesako	2009年7月1日	National Educational Computing Conference 2009	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	中澤明子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

8	指導教員	藤岡 淳子	副指導教員	中谷 素之		
	氏名	葛原 昌司	研究分野名	教育心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	翻訳 (分担翻訳)	回復への道のり 親ガイド	藤岡淳子(監訳)、葛原昌司他(翻訳)	2009年8月5日	誠信書房、6～9章を担当	
	学会発表 (国内)	思春期少年のインターネットを利用した性行動と心理的影響	葛原昌司・山田順久	2009年3月	日本犯罪心理学会第46回大会発表論文集、90-91	
	学会発表 (国内)	性問題行動のある子どもたちへの集団療法～行動の変化を目指して～	浅野恭子、葛原昌司他	2009年5月	日本心理臨床学会第28回秋期大会発表論文集、p42	
	学会発表 (国内)	性暴力治療教育プログラムにおける効果評価～より効果的な介入のために～	葛原昌司	2010年3月(予定)	日本犯罪心理学会第47回大会発表論文集(印刷中)	

9	指導教員	中谷 素之	副指導教員	藤岡 淳子		
	氏名	辻本 耐	研究分野名	教育心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	幼児期における死の概念の発達の变化	辻本 耐	2010年3月(予定)	大阪大学教育学年報15, 印刷中	
	著書(編著)	子どもは死んだらどうなると思っているのか	辻本 耐	2010年3月(予定)	龍谷大学仏教文化研究所編, 真宗とカウンセリング, 印刷中	
	学会発表 (国内)	幼児期の子どもをもつ親のデス・エデュケーションに対する態度	辻本 耐・中谷 素之	2009年10月	日本教育心理学会第51回総会発表論文集, p.714.	
	学会発表 (国内)	幼児期における実行機能と他者感情理解および共感性との関連	山村 麻予・辻本 耐・中谷 素之	2009年10月	日本教育心理学会第51回総会発表論文集, p.535.	
	学会発表 (国内)	幼児期における死の不安の発達の变化	辻本 耐・中谷 素之	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集, 印刷中	
	ラウンド テーブル (話題提供)	幼児期にある子どもをもつ親の死に関するコミュニケーションの内容	辻本 耐	2010年3月(予定)	日本発達心理学会第21回大会発表論文集, 印刷中	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	辻本 耐	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

10	指導教員	中谷 素之	副指導教員	藤岡 淳子		
	氏名	大谷 和太	研究分野名	教育心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	中学生用自己価値の随伴性尺度の開発	大谷和太・中谷素之	2010年3月(予定)	パーソナリティ研究	○
	学会発表 (国内)	自己価値の随伴性と学業達成の関連	大谷和太・中谷素之	2009年9月22日	第51回日本教育心理学会総会(於静岡大学)	
	学会発表 (国内)	自己価値の随伴性が内発的動機づけ低下に及ぼす影響	大谷和太・中谷素之	2009年11月29日	第18回日本パーソナリティ心理学会総会(於川崎医療福祉大学)	
	学会発表 (国外)	Peer modelling of motivation and children's achievement behaviours	Ito, T., Nakaya, M., Okada, R., & Ohtani, K.	2009年8月5日	American Psychological Association 117th Annual Convention: Tronto, Canada	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	大谷和 大	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

11	指導教員	中谷 素之	副指導教員	藤岡 淳子		
	氏名	田中 康博	研究分野名	教育心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	話し合いにおける熟練教師の指導と学級経営との関連	田中康博・中谷素之	2009年9月22日	日本教育心理学会第51回総会	
	研究会発表	指導上課題を有する子どもへの働きかけと学級づくり	田中康博	2010年2月19日	水尾小学校 仲間づくり研究部会	

12	指導教員	中谷 素之	副指導教員	藤岡 淳子		
	氏名	山村 麻予	研究分野名	教育心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	幼児期における実行機能および共感性と他者感情理解の関連	山村麻予・辻元耐・中谷素之	2009年9月22日	日本教育心理学会第51回総会論文集	
	学会発表 (国内)	児童期における非表出的行動に関する認知発達	山村麻予・中谷素之	2010年3月26-28日(予定)	日本発達心理学会第21回大会論文集(印刷中)	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	山村麻予	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

13	指導教員	中谷 素之	副指導教員	藤岡 淳子		
	氏名	山口 洋介	研究分野名	教育心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	小学生の作文スタイルの分類とその特徴	山口 洋介・中谷 素之	2009年9月22日	日本教育心理学会第51回総会発表論文集, 572.	
	研究会発表	よりよい作文を書くには?	山口 洋介	2009年2月26日	2008年度茨木市立水尾小学校冬期定期例研究会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	山口 洋介	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

14	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	管生 聖子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	出生前診断の告知のあり方と自己決定の支援について考えるサイト「泣いて笑って」におけるリーフレット共同作成のプロセス	藤本佳代子・佐々木 規子・中込さと子・管生聖子	2009年9月11日	第8回日本遺伝看護学会論文集	
	学会発表 (国内)	周産期の喪失と心のケア	管生聖子	2009年12月6日	第15回日本臨床死生学会大会論文集	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	管生聖子	特別研究員研究助成費	日本学術振興会

15	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	松本 拓真	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	対象関係論から見た未統合と統合の揺れ動きとその臨床的意義の検討	松本拓真	印刷中	心理臨床学研究	○
	研究論文	子どもの心理療法の研究法の必要性に関する一考察—事例研究の歴史とその展望—	松本拓真	2010年3月31日(予定)	大阪大学教育学年報	○
	研究会発表	タビストック方式乳児観察から見た赤ちゃんが家族の一員となる過程～きょうだいの反応の変化に焦点を当てて～	松本拓真・北口伸枝・藤森旭人	2009年5月17日	第3回精神分析フォーラム	
	講演	臨床心理士の仕事とは	松本拓真	2009年6月18日	知的障害児通園施設 都島こども園保護者向け研修会	
	講演	子どもと保護者の理解のために～臨床心理士の視点から～	松本拓真	2009年8月12日	明日香小学校 職員研修会	
	講演	子どもの心の理解と関わり方について～傷ついた心が周囲に与える影響～	松本拓真	2010年2月26日(予定)	刀根山特別支援学校 教職員研修会	

16	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	山本 典子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	生体腎移植のドナーに関する臨床心理学的考察I—腎提供という体験—	山本典子、高原史郎	2010年3月(予定)	今日の移植, 23 (印刷中)	○
	紀要論文	「自閉症と診断された」小学生男児の母親との面接—母親として、一人の女性として—	山本典子	2009年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 15, 25-33	
	会報誌	シリーズ「生徒相談室より」その16 愛を実践すること	山本典子	2010年2月(予定)	大阪女学院ハイライツ	

17	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	富成 達也	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	その他(自主シンポジウム)	心理療法における錬金術プロセスの検討	上條史絵・草野直子・富成達也・松本美和子・村瀬亜紀子・山本典子	2009年9月22日	日本心理臨床学会第28回大会発表論文集 p.586	

18	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	松本 美和子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	事例論文	「離人症かもしれない」と来談した女子学生の面接課程	松本 美和子	2009年12月1日	大阪大学人間科学研究科心理教育相談室紀要	

19	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	村瀬 亜紀子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表(国内)	自主シンポジウム:心理療法における錬金術プロセスの検討	上條史絵、草野直子、村瀬亜紀子(話題提供者)、他	2009年9月22日(発表日)	日本心理臨床学会第28回	

20	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	森 文彦	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	事例論文	1年以上パチンコから離れている依存症サラリーマンとの面接過程	森 文彦	2009年12月1日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	

21	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	柴田 早紀	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	筋ジストロフィー病棟におけるケースカンファレンス—亡くなった患者にまつわる「葛藤」をめぐって—	柴田早紀	2009年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 15, 146-151	
	研究会発表	筋ジストロフィー病棟におけるケースカンファレンス—亡くなられたAさんの事例—	柴田早紀	2008年12月	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)平成20年度班会議(研究成果報告会)	
	研究会発表	筋ジストロフィーという病気のより良い説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—患者家族のインタビューから	柴田早紀	2009年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)平成21年度班会議(研究成果報告会)	
	研究会発表	筋ジストロフィーという病気のより良い説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—成人患者のインタビューから	高田紗英子・柴田早紀・須山未菜ら	2009年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)平成21年度班会議(研究成果報告会)	
	その他(シンポジウム)	筋ジストロフィー病棟におけるケースカンファレンス	柴田早紀	2008年	院内筋ジストロフィー患者の日常生活の質を高めるための研究会シンポジウム	
	その他(シンポジウム)	筋ジストロフィー患者の家族への調査	柴田早紀	2009年1月	大阪大学大学院・沖縄国際大学大学院・沖縄病院共同シンポジウム 筋ジストロフィーという病の望ましい伝え方と心理支援	
	その他(マニュアル冊子)	ボランティア活動で得たもの	柴田早紀	2010年3月(予定)	筋ジストロフィー患者への関わりについて 刀根山病院神経内科部療育指導室(印刷中)	

22	指導教員	井村 修	副指導教員	老松 克博		
	氏名	上條 史絵	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	心理臨床における身体自我考察の試み	上條 史絵	2009年3月31日	大阪大学教育学年報No.14, 63-75.	
	紀要論文	第二の誕生を果たした男性との面接過程—楽園から外界へ—	上條 史絵	2009年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科 心理教育相談室紀要No.15, 37-45.	
	学会発表(国内)	大学生の自傷傾向と他の障害傾向との関連	上條 史絵	2009年10月2日	日本児童青年精神医学会第50回大会抄録集 373.	
	学会自主シンポジウム(企画・話題提供)	心理療法における錬金術プロセスの検討	上條史絵・草野直子	2009年9月22日	日本心理臨床学会第28回秋季大会発表論文集586.	

23	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	高田 紗英子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	筋ジストロフィーという病気のより良い説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—成人患者のインタビューから	高田紗英子・井村修・藤村晴俊	印刷中	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」平成21年度班会議	
	紀要論文	チックを呈する息子の母親との面接過程—息子とふたりで旅する時間—	高田紗英子	2010年1月	大阪大学心理教育相談室紀要	
	学会発表(国内)	筋ジストロフィーという病気のより良い説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—成人患者のインタビューから	高田紗英子・井村修・藤村晴俊	2009年12月	筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究班成果報告書	
	学会発表(国内)	「筋ジストロフィーという病の望ましい伝え方と心理支援」筋ジストロフィー患者への調査	高田紗英子	2010年1月	沖縄国際大学大学院・大阪大学大学院・沖縄病院共同研究会&シンポジウム報告書(印刷中)	

24	指導教員	井村 修	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	井池 直美	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表(国内)	統合失調症患者の論理記憶に関する検討	井池直美、川崎康、井村修	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 872.	
	学会発表(国内)	統合失調症患者の対連合記憶課題における記憶障害に関する検討	川崎康、井池直美、井村修	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 873.	
	学会発表(国内)	統合失調症患者の論理記憶障害と生活の質に関する検討	井池直美、橋本亮太、安田由華、大井一高、高村明孝、福本素由己、川崎康、高橋秀俊、岩瀬真生、数井裕光、井村修、武田雅俊	2010年3月26日(予定)	日本統合失調症学会第5回大会	

25	指導教員	井村 修	副指導教員	佐々木 淳		
	氏名	川崎 康	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表(国内)	統合失調症患者の対連合記憶課題における記憶障害に関する検討	川崎 康・井池 直美・井村 修	2009年8月	日本心理学会 第73回大会発表論文集 873	
	学会発表(国内)	統合失調症患者の論理記憶に関する検討	井池 直美・川崎 康・井村 修	2009年8月	日本心理学会 第73回大会発表論文集 873	

26	指導教員	井村 修	副指導教員			
	氏名	須山 未菜	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	筋ジストロフィーという病気のより良い説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—成人患者のインタビューから	高田紗英子・柴田早紀・須山未菜・岩田優子・中野恵里・松村剛・齊藤利雄・豊岡圭子・猪山昭徳・安井久美子・斎藤朋子・神野進	2009年度	厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究」平成21年度班会議	

27	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	中野 恵里	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書(大学・研究所等)	筋ジストロフィーという病の望ましい伝え方と心理支援—告知に関するこれまでの研究の紹介	中野恵里・高田紗英子・柴田早紀・須山未菜・岩田優子・藤野陽生・井村修・藤村晴俊	2010年3月(予定)	大阪大学・沖縄国際大学・沖縄病院共同シンポジウム 報告書(印刷中)	
	学会発表(国内)	筋ジストロフィーという病気のよりよい説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—患者家族のインタビューから	柴田早紀・高田紗英子・須山未菜・岩田優子・中野恵里・井村修	2009年12月1日	筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)平成21年度班会議 抄録集 97	
	学会発表(国内)	筋ジストロフィーという病気のよりよい説明の仕方と受容過程に関する臨床心理学的研究—成人患者のインタビューから	高田紗英子・柴田早紀・須山未菜・岩田優子・中野恵里・井村修	2009年12月1日	筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班)平成21年度班会議 抄録集 96	

28	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	藤野 陽生	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表	デュシェンヌ型筋ジストロフィー児への医師による告知に関する研究(多施設共同研究)	藤野陽生・松村剛・齋藤利雄・豊岡圭子・猪山昭徳・安井久美子・齋藤朋子・神野進	2009年11月30日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究(筋ジス研究神野班) 平成21年度班会議抄録集 99	

29	指導教員	宮田 敬一	副指導教員			
	氏名	草野 智洋	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書(厚生労働科学研究)	大学生に見出される不登校・ひきこもりの実態把握と支援に関する研究	水田一郎・小林哲郎・石谷真一・安住伸子・井出草平・谷口由利子・草野智洋	2010年3月(予定)	平成19～21年度厚生労働科学研究(こころの健康科学研究事業)「地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究」(主任研究者:齋藤万比古)研究報告書(印刷中)	
	紀要論文	E.Lukasによるロゴセラピーの会話スタイルの4要素 —“Lehrbuch der Logotherapie”を基礎にして—	草野智洋	2009年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要15号,123-130	
	学会発表(国内)	諸外国におけるひきこもりの認知度に関する研究	草野智洋	2009年9月20日	日本心理臨床学会第28回大会発表論文集 P.374	

30	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修・佐々木 淳		
	氏名	大脇 真奈	研究分野名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究ノート	耳鳴の臨床心理学的研究 1	大脇真奈	(印刷中)	大阪大学教育学年報 15	
	学会発表(国内)	インスリン自己注射の実態調査患者の苦勞を知り、外来指導に役立てたい!	山下志信・佐々木洋光・岡田由紀子・谷口美和子・服部芳明・田中伸明・大脇真奈・渡邊啓介・加藤多賀子・後藤慎一・大竹恵・加藤俊明・宮崎真紀子・稲垣智恵子・秋山若菜・垣見友子	2009年4月	糖尿病 52巻 Suppl.1 PageS-170	
	学会発表(国内)	TRT施行している長期通院患者の検討	高橋真理子・関谷芳正・松田太志・荒木幸絵・加藤有加・牧野多恵子・大脇真奈・渡邊啓介・村上信五	2009年9月	Audiology Japan 52巻 5号 Page251-252	
	学会発表(国内)	MMPIを用いた耳鳴患者の心理的特性の検討(第3報)	加藤有加・関谷芳正・本田麻・大脇真奈・渡邊啓介・松田太志・高橋真理子・牧野多恵子・村上信五	2009年9月	Audiology Japan 52巻5号 Page231-232	
	研究会発表	TRT施行症例におけるバウムテストを用いた心理特性の検討	本田麻・関谷芳正・加藤有加・高橋真理子・牧野多恵子・村上信五・松田太志・大脇真奈・渡邊啓介	2009年7月4日	日本聴覚医学会 第9回耳鳴りと難聴の研究会プログラム	
	研究会発表	MMPIを用いた耳鳴患者の心理的特性の検討	加藤有加・関谷芳正・本田麻・高橋真理子・牧野多恵子・村上信五・松田太志・大脇真奈・渡邊啓介	2009年7月4日	日本聴覚医学会 第9回耳鳴りと難聴の研究会プログラム	
	研究会発表	耳鳴りステージ分類の試み	高橋真理子・松田太志・関谷芳正・大脇真奈・渡邊啓介・牧野多恵子・加藤有加・荒木幸絵・村上信五	2009年7月4日	日本聴覚医学会 第9回耳鳴りと難聴の研究会プログラム	

<その他:雑誌取材>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009年5月	大脇 真奈	薬剤師へのメッセージ 春日井市民病院 臨床心理士 大脇真奈さん 相手の反応を見ることが出来るコミュニケーションを	ファーマネクスト (65) pp.33-35
2009年6月	大脇 真奈	薬剤師から臨床心理士に 一患者本来の姿を取り戻す心のサポート 大脇真奈氏 春日井市民病院 臨床心理士	月刊薬事 51(9) pp1266-1267

<その他:研修会>

年月	研修会名	役割	主催	場所
2009.4~2010.2	臨床動作法 継続研修会	講師補助	関西臨床動作学研究会	山科アスニー(京都)・NEC晴嵐会館(大津)
2009.4~2010.2	臨床動作法 通年研修会	講師補助	ふおりせ心理ストレス相談室	山科アスニー(京都)・NEC晴嵐会館(大津)
2009.6.8	トラウマ回復支援の臨床動作法	講師補助	関西臨床動作学研究会	山科アスニー(京都)
2009.12.12~13	第6回臨床動作法 関西WS 2009 at 京都	講師補助	関西臨床動作学研究会	平安会館(京都)
2010.2.14~18	臨床動作法 ASIA WS 2010 in Cambodia	講師補助	関西臨床動作学研究会	シェムリアップ州立病院 シェムリアップ(Cambodia)

<その他:社会活動>

年月	事柄	内容	依頼者
2010.2.6	学校保健委員会 講師	心の健康について「ストレスと上手につきあう」	一宮市立大和西小学校校長
2010.2.15	臨床動作法 ASIA WS 2010 in Cambodia	カンボジア人セラピストへの研修 講師補助	Cambodia Community Mental Health Services(CCMHS)

31	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	佐々木 淳	
	氏名	安達 友紀	研究分野名	臨床心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表(国内)	催眠による認知的評価の変化が痛みの耐性に及ぼす影響について	安達友紀・宮田敬一・中江文・柴田政彦	2009年11月23日	日本催眠医学心理学会第55回大会発表論文集 36

32	指導教員	宮田 敬一	副指導教員		
	氏名	足立 匡基	研究分野名	臨床心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表(国内)	動作法の実践が高齢者の主観的幸福感に与える影響	足立匡基	2009年6月10日	老年社会科学第51回大会報告要旨号 243

33	指導教員	宮田 敬一	副指導教員		
	氏名	勝田 萌	研究分野名	臨床心理学	学年 MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学会発表(国内)	「青年の認知する親の期待・養育態度と過剰適応の関連」	勝田 萌	2009年9月22日	日本教育心理学会第51回総会

34	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	佐々木 淳	
	氏名	酒見 惇子	研究分野名	臨床心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	報告書(病院活動)	ボランティア活動で得たもの	岩田優子, 柴田早紀, 酒見惇子, 中野恵里, 藤野陽生	2010年3月(予定)	筋ジストロフィー患者への関わりについて(印刷中)

35	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	佐々木 淳	
	氏名	竹田 剛	研究分野名	臨床心理学	学年 MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	学内発表(国内)	状態自己愛尺度作成の試み	竹田 剛	2009年11月22日	日本青年心理学会第17回大会発表論文集 64-65.

36	指導教員	佐々木 淳	副指導教員			
氏名	岡田 紫甫	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国外)	A qualitative study of decision-making by breast cancer patients about telling their children about their illness	Saran Yoshida, Hiroyuki Otani, Kei Hirai, Akira Oshima, Asuka Mera, <u>Shiho Okada</u>	Epub ahead of print	Supportive Care in Cancer	○	
報告書 (大学)	第12章 高齢者の受領行動の適正化に関する意思決定の研究	岡田紫甫	2009年3月31日	平成18, 19, 20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書(課題番号18330146) 高齢者のQOL支援のための認知行動的要因に関する研究 149-156		
報告書 (大学)	骨髄移植患者の同胞の意思決定に関する研究	太田秀明・楠木重範・ <u>岡田紫甫</u> ・吉津紀久子・伊藤壽記・吉田沙蘭・盛武浩・尾形明子	2009年3月	厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 成人がん患者と小児がん患者の家族に対する望ましい心理社会的支援のあり方に関する研究 平成20年度 総括・分担研究報告書 71-74		
翻訳	第7章問題解決療法を用いた3つの事例	岡田紫甫	2009年6月30日	明智龍男・平井啓・本岡寛子監訳 不安と抑うつに対する問題解決療法 金剛出版 (Mynors-Wallis, L. (2005). Problem-solving treatment for anxiety and depression: A practical guide. (pp. 125-149, Three course of problem-solving treatment). New York: Oxford University Press.)	○	
学会発表 (国内)	患者のもつ医師への信頼感の関連要因に関する検討	<u>岡田紫甫</u> ・平井啓・荒井弘和・和田奈緒子・佐々木淳・藤田綾子	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 362	○	
学会発表 (国内)	小児がん患者の造血幹細胞移植の同胞ドナー及び家族に対するインタビュー調査	<u>岡田紫甫</u> ・太田秀明・楠木重範・吉津紀久子・吉田沙蘭・尾形明子・盛武浩・平井啓	2009年11月28日	日本小児がん学会第25回大会発表論文集 416	○	

37	指導教員	佐々木 淳	副指導教員			
氏名	和田 奈緒子	研究分野名	臨床心理学	学年	MC 2 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
報告書 (大学)	第11章慢性疾患心配対処能力尺度の作成と妥当性の検討	和田奈緒子	2009年3月31日	平成18, 19, 20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書(課題番号18330146) 高齢者のQOL支援のための認知行動的要因に関する研究 112-148		
報告書 (大学)	がん患者への認知行動療法に基づく介入プログラム開発に関する研究(分担研究者 平井啓)	平井啓・本岡寛子・塩崎麻里子・伊藤直・吉崎亜里香・ <u>和田奈緒子</u> ・金井菜穂子・松向寺真彩子	2009年3月	厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 課題:がん患者に対するリエゾンの介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究 平成20年度 総括・分担研究報告書 39-43		
翻訳	第3章問題解決療法の7つのステージ	和田奈緒子	2009年6月30日	明智龍男・平井啓・本岡寛子監訳 不安と抑うつに対する問題解決療法 金剛出版 (Mynors-Wallis, L. (2005). Problem-solving treatment for anxiety and depression: A practical guide. (pp. 39-73, The seven stage of problem-solving treatment). New York: Oxford University Press.)	○	
学会発表 (国内)	慢性疾患心配対処能力尺度の作成と妥当性の検討	<u>和田奈緒子</u> ・平井啓・本岡寛子・塩崎麻里子・伊藤直・荒井弘和・藤田綾子	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 450	○	
学会発表 (国内)	患者の持つ医師への信頼感の関連要因に関する検討	<u>岡田紫甫</u> ・平井啓・荒井弘和・ <u>和田奈緒子</u> ・佐々木淳・藤田綾子	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 362	○	
学会発表 (国内)	大学生グループを対象とした問題解決療法	本岡寛子・平井啓・塩崎麻里子・伊藤直・吉崎亜里香・ <u>和田奈緒子</u>	2009年8月26日	日本心理学会第73回大会発表論文集 1286	○	
学会発表 (国内)	教育現場における問題解決療法の実施者養成プログラム作成の試み	本岡寛子・吉崎亜里香・ <u>和田奈緒子</u>	2009年9月20日	日本心理臨床学会第28回秋季大会発表論文集194	○	
学会発表 (国内)	がん患者へのグループ問題解決療法に関する研究	金井菜穂子・平井啓・松向寺真彩子・ <u>和田奈緒子</u> ・伊藤直・吉崎亜里香・本岡寛子・徳山まどか・明智龍男	2009年10月1日	第22回日本サイコオンコロジー学会抄録集 115	○	
学会発表 (国外)	Development of Cancer Worry Impact Inventory (CWII) in Japanese cancer patients	Naoshi Ito, Kei Hirai, Mariko Shiozaki, Hiroko Motooka, <u>Naoko Wada</u> , Arika, Yoshizaki,	2009年11月19日	43rd Annual Convention of Association for behavioral and Cognitive Therapies,322	○	

38	指導教員	中村 高康	副指導教員	近藤 博之		
	氏名	西田 亜希子	研究分野名	教育社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	専門学校は大学進学のための代替的進路か？-進路多様校における専門学校希望者の分析による検討	西田亜希子	2009年7月4日	『子ども社会研究』15号	○
	学会発表 (国内)	都市部高校生の進路選択とローカリズム-高校3年間の進路変容過程に関する継時的研究(4)	中村高康・片山悠樹・西田亜希子・藤原翔・岩田考	2009年9月10日	日本教育社会学会第61回大会発表要旨集録	

39	指導教員	小野田 正利	副指導教員			
	氏名	姫野 完治	研究分野名	教育制度学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	小学校における清掃活動の指導に関する研究	姫野完治・小川美紀	2010年3月1日	教師学研究, 第8・9号(印刷中)	○
	報告書 (大学)	学力テストに基づく処方箋と長期的視野	姫野完治	2009年3月31日	秋田大学教育フォーラム 秋田の学力と教員養成を考える, 63-65	
	紀要論文	小学校1年生の学校適応と教師の働きかけに関する予備的研究	田谷麻衣・姫野完治	2009年5月1日	秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要, 第31号, 151-160	○
	学会発表 (国内)	段階的教育実習による教職志望学生の成長観の変容	姫野完治	2010年2月27日	日本教師学学会第11回大会要旨集(印刷中)	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.1.7	姫野 完治	教育ルネサンス(教員養成-教える意識現場で培う)	読売新聞

40	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	石川 朝子	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	調査報告「韓国華僑学校の民族教育に関する研究調査報告—中華民国(台湾)との国交断絶前後の変化に注目して」	石川 朝子	2009年3月1日	グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文科学」ジャーナル『コンフリクトの人文科学』第一号	○
	研究会発表	多国籍・多文化化する中華学校のアイデンティティ形成・保持の教育—神戸中華同文学校の学校文化の変容に着目して—	石川 朝子	2009年7月	東アジア研究所プロジェクト研究会	
	研究会発表	多国籍・多文化化する中華学校の学校文化—神戸中華学校のエスニック・アイデンティティ形成・保持の教育に着目して	石川 朝子	2009年7月	第28回 アジア教育研究会	
	研究会刊行物	聞き書き・関西華僑のライフストーリー	神阪京華僑口述記録研究会	2009年12月1日		

41	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	加賀田 哲也	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	中学入学以前の英語学習経験が高校生の情意面に及ぼす影響	樋口忠彦、加賀田哲也、ほか	2009年9月1日	英語授業研究学会研究紀要第18号、48-79	○
	紀要論文	人間学的英語教育の概念構築	加賀田哲也	2009年5月1日	大阪商業大学論集第151・152号合併号、467-479	
	学会発表 (国内)	人権教育の視座を重視した国際理解教育の可能性	加賀田哲也	2009年11月1日	日本児童英語教育学会(於近畿大学)	
	学会発表 (国内)	スローラーナーの実態と指導について考える	前田和彦、加賀田哲也、ほか	2009年11月1日	日本大学英語教育学会(於近畿大学)	
	雑誌	英語嫌いな大学生をどう英語好きにするか	加賀田哲也	2010年3月1日	英語教育第58巻12号、28-30	

42	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	山根 絵美	研究分野名	生涯教育学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	「ドイツ調査」	森田英嗣・中山あおい・石原陽子・山根絵美	2009年5月	志水宏吉(研究代表者)「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から—平成20年度 各国現地調査のまとめ」平成20年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A(20243037))	
	報告書	「ドイツ調査」	森田英嗣・中山あおい・石原陽子・山根絵美	2010年(予定)	志水宏吉(研究代表者)「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から—平成21年度 各国現地調査のまとめ」平成21年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A(20243037))	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.9	山根絵美	交換留学対象(部局間協定)助成 a)	大阪大学 国際部学生交流推進課

43	指導教員	木村 涼子	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	寺町 晋哉	研究分野名	生涯教育学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表(国内)	教員免許取得を目指す学生のジェンダーと教育に対する認識	寺町晋哉	2009年9月12日	日本教育社会学会第61回大会論文集	
	課題研究発表	課題研究Ⅲ 教師教育におけるジェンダー視点の必要性 報告3 「大学におけるジェンダー関連科目の履修状況:教員養成と他学部学生との比較」	寺町晋哉・浅井幸子・望月一枝・大津尚志・木村涼子	2009年10月3日	日本教師教育学会第19回大会	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.9	寺町晋哉	「新たな視点」に出会う「きっかけ」として	月刊 ヒューマンライツ

44	指導教員	木村 涼子	副指導教員			
	氏名	河上 婦志子	研究分野名	生涯教育学	研究生	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書(大学)	教師の学習ニーズの諸相	河上婦志子	2010年3月(予定)	神奈川大学心理・教育研究論集 第29号	
	著書(分担執筆)	女性だけの組織「オンタリオ女性教師協会連合」	河上婦志子	2010年2月28日	村井まや子編『ジェンダー・ポリティクスを読む』	
	翻訳	顧燕翎著 婦女新知の時代	河上婦志子	2010年2月28日	村井まや子編『ジェンダー・ポリティクスを読む』	
	学会発表(国内)	教員のキャリア形成と大学の役割	鈴木そよ子・河上婦志子・関口昌秀	2009年8月29日	日本教育学会第68回大会 発表要旨集録	

45	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	榎井 縁	研究分野名	教育文化学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	共生のトポス(85)正しい教育が子どもに還元されるために—金相文さん(前編)	榎井 縁	2009年4月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(4)(通号497号)、明治図書出版、pp. 100-106	
	学術論文(国内)	共生のトポス(86)正しい教育が子どもに還元されるために—金相文さん(後編)	榎井 縁	2009年5月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(5)(通号498号)、明治図書出版、pp. 59-65	
	学術論文(国内)	外国籍教員のおかれている現状と課題	榎井 縁	2009年5月1日	社団法人子ども情報研究センター編 『はらっぱ』(295号)、社団法人子ども情報研究センター出版、pp. 6-8	
	学術論文(国内)	共生のトポス(87)ひとりひとりのルーツを大切にできる生き方を—鄭明子さん(前編)	榎井 縁	2009年6月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(6)(通号499号)、明治図書出版、pp. 108-117	
	学術論文(国内)	共生のトポス(87)ひとりひとりのルーツを大切にできる生き方を—鄭明子さん(後編)	榎井 縁	2009年7月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(7)(通号500号)、明治図書出版、pp. 109-117	
	学術論文(国内)	外国人の法律はどこへ行くのか	榎井 縁	2009年8月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(8)(通号501号)、明治図書出版、pp. 73-77	
	学術論文(国内)	子どもにかかわったら大人は変わる(前編)	榎井 縁	2009年9月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(9)(通号502号)、明治図書出版、pp. 69-73	
	学術論文(国内)	子どもにかかわったら大人は変わる(後編)	榎井 縁	2009年10月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(10)(通号503号)、明治図書出版、pp. 110-117	
	学術論文(国内)	ブラジルが大好き—ヒロミさん	榎井 縁	2009年11月1日	解放教育研究所編 『解放教育』39(11)(通号504号)、明治図書出版、pp. 109-117	
	学術論文(国内)	地域における外国人子育て支援	榎井 縁	2009年11月1日	日本外来小児科学会『外来小児科』Vol.12 No.3、日本外来小児科学会、pp. 351-357	

学術論文 (国内)	家族のこと、貧しかったこと忘れな いーメルバさんの話	榎井 縁	2009年12月1日	解放教育研究所編『解放教育』39(12)(通号 505号)、明治図書出版、pp. 108-117
学術論文 (国内)	ユキミ「見てきたのは、自分のお母 さん」	榎井 縁	2010年1月1日	解放教育研究所編『解放教育』40(1)(通号 506号)、明治図書出版、pp. 108-117
学術論文 (国内)	日本に来たら新しい生活がある	榎井 縁	2010年2月1日	解放教育研究所編『解放教育』40(2)(通号 507号)、明治図書出版、pp. 108-117
学術論文 (国内)	サン、17歳「羽生やすから」	榎井 縁	2010年3月1日	解放教育研究所編『解放教育』40(2)(通号 507号)、明治図書出版、pp. 108-117
学会発表 (国内)	地域における多文化教育実践に関 する一考察～小学校外国と体験活 動事業の可能性～	榎井 縁	2009年9月13日	日本教育社会学会第61回大会発表要旨集録 pp. 331-332

46	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也	
	氏名	新矢 麻紀子	研究分野名	教育文化学	学年
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	報告書 (大学)	「ニューカマーの第二言語学習権を 保障する言語教育学・公法学的ア プローチ」	新矢麻紀子・佐藤潤 一他(計9名)	2009年9月30日	『ニューカマーに対する日本語教育保障法案 の創出をめぐる言語教育学・公法学的研究』 平成19年度～平成20年度科学研究費補助金 (萌芽研究 課題番号19652050)研究成果報 告書(研究代表者:新矢麻紀子・大阪産業大 学)
	著書 (分担執筆)	『みんなの日本語初級 I 漢字ポ ルトガル語版』	西口光一(監修)、 新矢麻紀子、高田 亨、古賀千世子、御 子神慶子	2009年10月	スリーエーネットワーク
	学会発表 (国内)	識字・日本語教室の変革における 教室理念の再構築	新矢麻紀子	2009年9月19日	日本社会教育学会第56回研究大会
	学会発表 (国内)	地域日本語支援にかかわる人材を どう育てるか	新矢麻紀子・中河和 子・御館久里恵・仙田 武司・米勢治子	2009年12月12日	文部科学省委託浜松学院大学「多文化共生 社会の構築に資する日本語教員養成プログ ラム」シンポジウム、社団法人日本語教育学 会「多文化共生社会における日本語教育研 究会第6回研究会「これからの地域日本語 教育を考える」
	学会発表 (国外)	「移民」に対する日本語教育保障法 案	新矢麻紀子・佐藤潤 一・春原憲一郎	2009年7月14日	JSAA-ICJLE2009(2009年度豪州日本研究大 会・日本語教育国際研究大会)

<その他:法案作成>

年月	氏名	法案名
2009.5.20	新矢麻紀子・佐藤潤一他(計9名)	日本語教育保障法案

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.5	新矢麻紀子	平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究B	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金

47	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也	
	氏名	棚田 洋平	研究分野名	教育文化学	学年
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	学術論文 (国内)	マイノリティの視点から見る学校文 化	棚田洋平	2009年4月1日	『教育文化学年報』第4号、pp.68-80
	著書 (分担執筆)	「荒れ」の記憶の継承と発展-V中 学校	棚田洋平	2009年5月1日	志水宏吉編著『力のある学校の探求』大阪大 学出版会、
	学会発表 (国内)	教師の「語り」に見るマイノリティ教 育実践	棚田洋平	2009年9月12日	第61回 日本教育社会学会 研究発表
	学会発表 (国内)	非識字者の生活世界	棚田洋平	2009年9月19日	第56回 日本社会教育学会 研究発表

48	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也	
	氏名	新谷 龍太郎	研究分野名	教育文化学	学年
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名
	学術論文 (国内)	日常場面に見る学校組織文化の変 容	新谷 龍太郎	2009年4月1日	教育文化学年報 第4号 2008年度 91-100
	学会発表 (国内)	「教員の働く環境に関する調査」の 結果とその示唆 -ノースカロライナ 州の事例から	新谷 龍太郎	2009年6月5日	日本教育経営学会第49回大会要旨集 2-3
	学会発表 (国内)	技術の言葉から関係の言葉へ-校 内研修における省察の言葉の変化 について	新谷 龍太郎	2009年9月10日	日本教育社会学会第61回大会発表要旨集録 101-102
	学会発表 (国内)	NCLB法に対する評価と葛藤 - ノースカロライナ州の事例から	新谷 龍太郎	2009年10月15日	日本教育行政学会第44回大会発表要旨集録 54-55

49	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	Nakaya Jaqueline Kimura	研究分野名	教育文化学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	「ブラジル調査」	ハヤシザキカズヒコ・ジャケリネ木村中矢・山本晃輔	2009年5月1日	志水宏吉(研究代表者)「学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から—平成20年度 各国現地調査のまとめ」平成20年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A(20243037)), pp.188-219	
	学会発表(国内)	往還することと教育—日本とブラジルにおける生活史分析から	ハヤシザキカズヒコ・山ノ内裕子・山本晃輔・Jaqueline Kimura Nakaya	2009年9月13日	61回教育社会学会	

50	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	前馬 優策	研究分野名	教育文化学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	現代社会における自尊感情と学力	前馬優策	2010年3月(予定)	教育文化学年報 第五号	
	報告書(大学)	平成21年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告	前馬優策、伊佐夏実、盛満弥生、新谷龍太郎、山本晃輔、古田美貴、芝野淳一、知念渉、中村瑛仁	2009年11月	平成21年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告	
	著書(分担執筆)	「効果のある学校」に学ぶ子どもたち	前馬優策	2009年5月15日	志水宏吉編、「力のある学校」の探究、大阪大学出版会、49-65	
	学会発表(国内)	中学生の進路意識の変容とその要因についての一考察	前馬優策	2009年8月28日	日本教育学会第68回大会発表要旨集録 254-255	
	学会発表(国内)	学力政策の比較社会学(その1)～全国学力テストを都道府県はどう受け止めたか	志水宏吉、山田哲也、鈴木勇、石原陽子、前馬優策、知念渉、中村瑛人、古田美貴	2009年9月13日	日本教育社会学会台61回大会発表要旨集録 375-380	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4～	前馬優策	特別研究員奨励費	日本科学技術振興会

51	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	浅井 貴仁	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	学級崩壊と教師の権威	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学研究室	2009年4月	教育文化学年報第4号	
	報告書	学力向上策の比較社会学的研究(1)都道府県聞き取り調査のまとめ	志水 宏吉	2009年3月	平成20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A), 課題番号20243037)報告書	
	報告書	学力向上策の比較社会学的研究-攻勢と卓越性の確保の視点から-平成20年度各国現地調査のまとめ	志水 宏吉	2009年5月	平成20年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A), 課題番号20243037)報告書	

52	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也, 近藤 博之		
	氏名	三城 佑太	研究分野名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文(国内)	第I部—児童・生徒調査編—「第4章 子どもたちの意識と学力」	三城 佑太	2008年11月1日	平成20年度尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 115-151.	
	学術論文(国内)	トラッキング・パースペクティブは教育に何を問うのか	三城 佑太	2009年4月1日	教育文化学年報第四号	
	学術論文(国内)	専門学校という選択肢	三城 佑太	2010年4月1日(予定)	教育文化学年報第五号(印刷中)	
	報告書(大学・研究所等)	アメリカ調査	米川・英樹 新谷 龍太郎・浅井 貴仁・三城 佑太	2009年5月1日	学力向上策の比較社会学的研究—公正と卓越性の確保の視点から— 129-160	

53	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	知念 渉	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	学力政策の比較社会学(1)	志水宏吉・山田哲也・ 鈴木勇・石原陽子・前 馬優策・古田美貴・中 村瑛仁・知念渉	2009年9月13日	日本教育社会学会第61回大会(9月11~13日)	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2010.11	知念渉	学力と社会観・勉強観	尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告 pp.107-118

54	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	中村 瑛仁	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	「学校組織文化と「協働」に関する一考察」	中村瑛仁	2010年4月(予定)	『教育文化学年報』第5号	
	報告書 (大学)	第Ⅱ部一学校調査編一「第1章 学校調査の概要」第2章 学級規模と学力との関連」	中村瑛仁	2009年11月1日	平成21年度尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 160-185.	
	学会発表 (国内)	「学力政策の比較社会学(その1)ー全国学力テストを都道府県はどう受け止めたかー」	志水宏吉・山田哲也・ 鈴木勇・石原陽子・前 馬優策・知念渉・古田 美貴・中村瑛仁	2009年9月13日	日本教育社会学会第61回発表要旨集録 375-380	

55	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	山田 哲也		
	氏名	古田 美貴	研究分野名	教育文化学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	第2章 学校生活と学力	古田美貴	2009年11月1日	平成21年度尼崎市立小・中学校 学力・生活 実態調査報告 pp.49-60	
	学会発表	学力制作の比較社会学(その1)ー全国学力テストを都道府県はどう受け止めたかー	志水宏吉・山田哲也・ 鈴木勇・石原陽子・前 馬優策・知念渉・古田 美貴・中村瑛仁	2009年9月10日	日本教育社会学会第61回大会発表要旨集 pp.375-380.	

グローバル 在籍者 回答者 研究成果 成果有の人数(%)
 人間学系 67名 30名 有 19名 63%
 回答者率 45% 無 11名

1	指導教員	中村 安秀	副指導教員		
	氏名	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	研究分野名	国際協力学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	研究ノート	Interview Survey on Latin American Immigrants in Japanese Junior High School	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	印刷中	人間科学研究科紀要 ○
	論文	The Situation of Latin American Junior High School Students in Japan -Japanese Teacher Perspectives -	Alfaro Perez Francisco Oswaldo Yasuhide Nakamura	印刷中	多文化共生研究年報 ○
	会報誌	Integration of Latin American Immigrants into the Local Educational System in Japan	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2009年11月16日	International Association of Technology, Education and Development. International Conference of Education Research and Innovation -ICERI- ISBN: 978-84-613-2955-7 ○
	学会発表 (国内)	Latin American Students Integration to the Local Educational System in Aichi Prefecture	Alfaro Perez Francisco Oswaldo Yasuhide Nakamura	2010年3月6日	国際ボランティア学会
	学会発表 (国外)	Integration of Latin American Immigrants into the Local Educational System in Japan	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2009年11月16~18日	International Association of Technology, Education and Development. International Conference of Education Research and Innovation -ICERI-
	名古屋多文化共生研究会	南米系外国人児童生徒の地域教育システムへの統合 -愛知県下の公立中学校における聞き取り調査から-	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2009年12月12日	名古屋多文化共生研究会
	上智大学日系研究例会	Problems of Foreign Children in Japan	Alfaro Perez Francisco Oswaldo	2009年4月24日	上智大学日系研究例会

2	指導教員	中村 安秀	副指導教員	堤 修三	
	氏名	北村 広美	研究分野名	国際協力学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	報告書 (大学)	第5章 海外調査(フランス)	中村安秀、柳崎麻里、高橋真央、澤村信英、向井かおり、内海成治、藤掛洋子、梶房大樹、北村広美、阿部健一、李錦純	2009年6月	日本社会の課題解決における海外ボランティア活動の有効性の検証(青年海外協力協会受託調査研究)、120-128.
	著書 (分担執筆)	多文化共生キーワード事典	安藤幸一、田中泉、北村広美、永井慧子、加藤純子、田村太郎	(印刷中)	多文化共生キーワード事典編集委員会(編)、多文化共生キーワード事典(印刷中)、明石書店.
	著書 (分担執筆)	第三部 世界の国際ボランティア 第10章 フランス	中村安秀、内海成治、池田光穂、阿部健一、金子洋三、高橋真央、藤掛洋子、澤村信英、向井かおり、北村広美、柳崎麻里	(印刷中)	内海成治、中村安秀(編)、国際ボランティア論(印刷中)、ナカニシヤ出版.
	著書 (分担執筆)	在日外国人の健康問題(保健・医療・福祉と社会保障)	近藤敦、山脇啓造、北村広美、吉谷武志、佐藤善衛、太田晴雄、結城恵、田村太郎、志渡澤祥宏、石河久美子、杉澤経子、津田守、名嶋聰郎、村田敏、渡辺彰悟	(印刷中)	近藤敦(編)、多文化共生政策概論、明石書店.

3	指導教員	中村 安秀	副指導教員		
	氏名	瀧澤 郁雄	研究分野名	国際協力学	学年 DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名 審査有無
	研究発表	Japan and JICA's Contribution to HRH Development and Country Coordination Mechanism in Africa	Ikuo Takizawa	2009年10月27日	Global Health Workforce Alliance Meeting on Country Coordination and Facilitation (Accra, Ghana)
	研究発表	Japan and JICA's Contribution to Health Leadership and Management in Africa, with focus on ECOSA-HC Region	Ikuo Takizawa	2010年2月17日	50th Eastern Central and Southern African Health Community Health Ministers Conference (Kampala, Uganda)

4	指導教員	中村 安秀	副指導教員			
氏名	板東 あけみ	研究分野名	国際協力学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国内)	「母子健康手帳—ベトナム国における全国展開をめざして」	Dinh Thi Phuong HOA, 板東 あけみ	Vol. 24 (2009), No. 2	国際保健医療		
報告書 (研究所)	小児科臨床 第62巻 第5号	板東あけみ	2009年5月1日	ベトナムの母子健康手帳		
学会発表 (国内)	Development of Maternal and Child Health (MCH) Handbook		2009年7月18日-20日	Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education		
その他	JICA アドバイサー		2010年1月3日-1月13日	ベトナム国母子健康手帳プロジェクト		
その他	JICA (10カ国招聘研修)コースリーダー		2010年2月1日-2月19日	母子保健福祉研修		

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009-2010年	板東あけみ	研究助成	トヨタ財団

5	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
氏名	水元 芳	研究分野名	国際協力学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
学術論文 (国内)	Study on factors influencing nutritional status and dietary intakes in Botswana	Mizumoto, K..	2010年3月(印刷中)	大阪大学グローバル人間学紀要 2009年第1号	○	
事例論文	南部アフリカにおける栄養改善活動:レソト センク川渓谷干ばつ被災者支援活動を事例として	水元 芳	2009年6月1日	日本栄養士会雑誌 2009年 第52巻6号		
学会発表 (国内)	ボツワナ女性の栄養状況と食事摂取状況に影響を与える要因に関する研究	水元 芳、中村安秀	2009年8月6日	第24回国際保健医療学会学術大会		
学会発表 (国内)	ボツワナにおける肥満と栄養不良の二重負荷に関する考察	水元 芳	2009年10月17日	人間の安全保障教育研究コンソーシアム 2009年度研究大会		
学会発表 (国外)	Knowledge, Attitude and Practice of Balanced Diet among Women in Botswana	Mizumoto, K., Nnyepi, M., & Nakamura, Y.	2009年10月8日	The 15th International Congress of Dietetics		
シンポジウム講演	ボツワナでのコミュニティ栄養調査	水元 芳	2009年7月13日	野口英世アフリカ賞受賞ウエレ博士・国際シンポジウム		

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.7	水元 芳	グローバルCOE「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」平成21年度大学院生国際研究集会参加支援	大阪大学
2009.10	水元 芳	大学院教育改革支援プログラム「人間科学データによる包括的専門教育」論文等の外国語校正支援	大阪大学

6	指導教員	中村 安秀	副指導教員			
氏名	李 錦純	研究分野名	国際協力学	学年	DC 3 年次	
論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無	
著書 (分担執筆)	第9章 ともに老後を支えあう(2)日本で高齢期を迎えた在日コリアン	李錦純・川村千鶴子他	2009年6月1日	川村千鶴子, 近藤敦, 中本博皓編 移民政策へのアプローチ—ライフサイクルと多文化共生, 明石書店, pp.220-223.		
学会発表 (国内)	The life experiences of the ethnic minority elderly living in Japan:Focusing on Korean women with disability	李錦純・李節子・中村安秀	2009年8月5日	日本国際保健医療学会第24回学術大会抄録集, pp.130.	○	
学会発表 (国内)	介護保険制度下における外国人高齢者のケアマネジメント—在日コリアン要介護高齢者の対応困難事例の分析より	李錦純・李節子・中村安秀	2009年9月12日	国際看護研究会第12回学術集会抄録集, pp.37.	○	
学会発表 (国外)	An analysis of long-term care for elderly Korean immigrants in Japan; A case study at a long-term care insurance facility	Kumsun LEE, Setsuko LEE, Yasuhide NAKAMURA	2009年9月21日	The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, Towards creating a new domain of nursing knowledge Program&Abstracts, pp.211.	○	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.7	李 錦純	2009(平成21)年度在宅医療助成一般公募(前期)	財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

7	指導教員	中村 安秀	副指導教員	津田 守		
	氏名	竹迫 和美	研究分野名	国際協力学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	遠隔医療通訳システムの試験的な構築及び運用—群馬県国際課とNPOとの協働事業についての中間報告—	瀧澤清美、竹迫和美、岩澤由子、酒巻哲夫	2009年4月1日	日本遠隔医療学会雑誌、5(1)2009. 4:16-19、ISSN 1880-8004	○
	学会発表 (国外) ポスター発表	Trial on the Removal of Linguistic Barriers in Medical Settings	Takizawa K, Yamaguchi N, Takesako K, Sakamaki T	2009年4月26-28日	American Telemedicine Association, ATA2009, 14th Annual International Meeting & Exposition	○
	研究会発表 (国内)	第19回びわ湖国際医療フォーラム	竹迫和美、中村安秀	2009年7月4日	医療通訳者認定制度に関する国際的動向～米国における統一認定制度構築へ向けた最近の動向～	
	発表 (国外)	IMIA2009: International Medical Interpreters Association Annual Conference 2009、国際医療通訳者協会年の次総会2009の分科会発表	Takesako K.	2009年10月12日	32 Language Online Medical Questionnaire Project	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.5	中村安秀・竹迫和美(共著)	医療通訳士協議会の設立と今後の展望	(財)自治体国際化協会 機関誌『自治体国際化フォーラム』235号(2009年5月号、31～33頁)

8	指導教員	中村 安秀	副指導教員	草郷 孝好		
	氏名	日下部 尚徳	研究分野名	国際協力学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書 (分担執筆)	「アジアにおける人権問題—各国における現状と課題」	日下部尚徳、土井たか子、村井吉敬、他	2010年3月31日	土井たか子・アジア人権基金編『Asian Human Rights—アジアの人権状況の今』梨の木舎、pp. 120-191、(印刷中)	
	学会発表 (国内)	「バングラデシュにおけるサイクロン被害軽減にむけた一考察—サイクロン「シドル」被災地におけるインタビュー調査をもとにした課題提起」	日下部尚徳	2010年3月6日(予定)	国際ボランティア学会第11回大会	○

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009. 8	日下部尚徳	2009年度研究助成【博士後期課程在籍者及び修了後5年以内の研究者】	財団法人 松下国際財団

9	指導教員	中村 安秀	副指導教員	宮原 暁		
	氏名	矢元 貴美	研究分野名	国際協力学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (研究所)	大阪YMCA学院ニューカマー児童生徒支援事業への一提案	矢元貴美	2010年2月28日(予定)	YMCA総合研究所大阪YMCA研究フォーラム報告書、3, 152-158.(印刷中)	

10	指導教員	中村 安秀	副指導教員	澤村 信英		
	氏名	田中 真理子	研究分野名	国際協力学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表	ニューカマーに対するインクルーシブ教育の導入とその展望	田中 真理子	2009年12月11日	アジア教育研究会	

11	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	丁 紀祥	研究分野名	多文化共生社会論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文 (国内)	非即席原稿付き日中同時通訳における日中翻訳手法応用の可能性についての考察—温家宝首相国会演説を例に—	丁紀祥	2009年3月	『通訳翻訳研究』第8号:379-393	○
	学術論文 (国内)	日本語教育におけるビジュアル教材の応用の試み～漫画教材を例に	丁紀祥	2009年7月	『EXORIENTE』VOL.16:185-188	○
	学術論文 (国内)	CALL導入による日中通訳学習法—オンライン通訳自習教室の開設を目指して—	丁紀祥	2010年1月	『通訳翻訳研究』第9号:327-331	○
	学術論文 (国内)	オンライン日中通訳教材の作成—映像教材を例に—	丁紀祥	(印刷中)	『e-Learning教育研究』第4巻	○
	学会発表 (国内)	中日同時通訳における倒訳と順送り訳の使用についての一考察	丁紀祥	2009年7月30日	大阪大学言語社会学会研究大会	○
	学会発表 (国内)	インターネットによる通訳学習支援環境の構築	丁紀祥	2009年9月6日	日本通訳学会第10回年次大会	○

<その他:招待講演>

年月	氏名	内容	招待団体
2009.3.20	丁紀祥	大阪大学通訳・翻訳学専修コース紹介	台湾・文藻外国語学院日本語学科
2009.3.20	丁紀祥	サイトラの訓練と実践	台湾・文藻外国語学院日本語学科
2009.9.22	丁紀祥	大阪大学司法通訳翻訳プログラム紹介	台湾・国立高雄第一科技大学応用日本語学科
2009.12.23	丁紀祥	ウェブによる通訳教育と学習	台湾・国立高雄第一科技大学応用日本語学科
2009.12.24	丁紀祥	インターネット利用の通訳学習の実践	台湾・立德大学応用日本語学科

<その他:オンライン教材開発>

年月	受賞者名	内容
2009.2	丁紀祥	オンライン日中通訳自習教室
2009.7	丁紀祥	医療通訳士協議会

12	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	山本 一晴	研究分野名	多文化共生社会論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書 (大学)	多文化共生社会における言語内翻訳の有用性と処理方略	山本一晴	2009年7月30日	『EX ORIENTE』第16号:177-179. 大阪大学言語社会学会.	
	会報誌	教育実践学の構築:モデル論文の分析と理念型の提示を通して	兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究 科編著	2009年3月31日	『大阪大学図書館報』166号:9	
	学会発表 (国内)	テキスト分析による日タイ翻訳ストラテジーの諸相—複文構造の複雑性に関する問題を中心に—	山本一晴	2009年9月6日	第11回日本通訳翻訳学会. 金城学院大学	
	研究会発表	「実践英語」におけるTAの活動とその教育的効果	山本一晴	2009年12月10日	第3回CALL研究会. 大阪大学豊中キャンパス	

13	指導教員	津田 守	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	原 めぐみ	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表	二つの国の狭間に生きる	原めぐみ	2009年7月12日	第14回フィリピン研究会全国フォーラム	

14	指導教員	藤目 ゆき	副指導教員	千葉 泉		
	氏名	塩出 綾	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要 (活動報告)	コスタリカのコーヒー園で働くニカラガ女性移民たち—東部での聞き取り調査報告—	塩出綾	印刷中	グローバル人間学紀要(印刷中)	○

15	指導教員	小林 清治	副指導教員	堤修三、齋藤弥生、三好恵真子		
	氏名	野村 恭代	研究分野名	人間環境論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	報告書	PFI方式による社会復帰促進センターの役割	野村 恭代	2009年9月25日	日本精神保健福祉士協会機関紙『精神保健福祉』第40号第3号 107項	○ ○ ○
	紀要	精神障害者施設コンフリクトに関する一考察—事例研究の視点から—	野村 恭代	印刷中	大阪大学グローバル人間学紀要第2号	
	紀要	施設と地域住民との合意形成に及ぼす社会的要因—精神障害者施設を対象としたアンケート調査から	野村 恭代	印刷中	帝塚山大学心理福祉学部研究紀要第6号	
	著書 (分担執筆)	精神障害者福祉と財源	野村 恭代	2010年3月(予定)	山本隆他編『よくわかる福祉財政』ミネルヴァ書房	
	学会発表 (国内)	地域における合意形成のプロセスと課題	野村 恭代	2009年6月14日	第45回精神保健福祉士協会全国大会・第8回精神保健福祉学会	
	学会発表 (国内)	地域との良好な関係形成に向けた施設コンフリクトの実証的研究	野村 恭代	2009年6月21日	日本地域福祉学会第23回大会	
	学会発表 (国内)	施設と地域住民との合意形成に及ぼす社会的文化的要因	野村 恭代	2009年10月11日	日本社会福祉学会第57回全国大会	
	学会発表 (国内)	施設コンフリクト発生における地域の社会的要因に関する一考察	野村 恭代	2009年12月13日	社会文化学会第12回全国大会	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	野村 恭代	文部科学省研究費補助金若手研究(B)	日本学術振興会

16	指導教員	小林 清治	副指導教員	宮原 暁		
	氏名	五百木 あゆみ	研究分野名	人間環境論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	多様化する雇用形態と日系人労働者	五百木 あゆみ	2010年2月(印刷中)	グローバル人間学紀要 2009年 第2号	○

17	指導教員	染田 秀藤	副指導教員			
	氏名	八十田 糸音	研究分野名	動態地域論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表 (国内)	16世紀ヌエバ・エスパーニャにおける疫病の流行と布教活動をめぐる歴史的考察	八十田 糸音	2010年2月13日	大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」第10回公開ワークショップ	

<研究助成>

年月	採択者名	助成金の名称	授与団体
2009.4	八十田 糸音	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

18	指導教員	染田 秀藤	副指導教員	三好 恵真子		
	氏名	姉崎 正治	研究分野名	動態地域論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	イスマリアの植民地時代における銀鉱山での水銀汚染に関する地域動態的研究	姉崎正治	2009年3月31日	グローバル人間学紀要、vol. 1、55-69.	○
	紀要論文	ポトシ鉱山のカリカリ貯水池決壊事故に関する技術的論考	姉崎正治	2010年2月末予定	グローバル人間学紀要、vol. 2、19-35. (印刷中)	○
	研究会発表	旧スペイン領アメリカにおける銀鉱業と水銀汚染—過去・現在・未来—	姉崎正治	2009年10月30日	大阪大学グローバルCOE「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」第9回ワークショップ	
	依頼講演	研究生生活の妙味—出会いと好奇心、そして継続	姉崎正治	2009年9月15日	(株)中央電気工業鹿島工場『環境技術講演会』	

19	指導教員	河森 正人	副指導教員	中村安秀、津田守		
	氏名	河原 雅子	研究分野名	動態地域論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表 (国内)	タイ・チェンマイにおける日本人ロングステイヤーの適応戦略と現地社会の対応	河原雅子	2009年7月5日	日本タイ学会 第11回研究大会プログラム	

2009年度 PDの研究活動記録

1 受入研究者	辻 大介				
氏名	井出 草平	研究分野名	社会科学	PD	
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学術論文	大学からみたひきこもり予防の可能性	井出草平	2009年9月1日	月間『少年育成』	
報告書	水田一郎・井出草平・谷口由利子、「大学生に見出されるひきこもりの精神医学的な実態把握と援助に関する研究」(印刷中)	水田一郎・井出草平	2010年4月1日	厚生労働省『こころの健康科学研究事業「思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究」平成22年度総括・分担研究報告書	
著書 (分担執筆)	「ひきこもりと家族」	井出草平	2009年12月10日	『家族を超える社会学』新曜社	
政府ガイド ライン	「教育機関(大学生以上)による評価」「教育機関(大学生以上)における支援」「教育機関(大学生以上)における現状と課題」	水田一郎・井出草平	2009年4月1日	厚生労働省『思春期ひきこもりに対する評価・援助のためのガイドライン(案)』、pp 216-219・pp 281-282・pp 337-340	
シンポジウ ム	「ひきこもりは予防できるのか」 「ニートは就職できるのか」	井出草平	2009年11月28日	大阪市立中央青年センター	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.12	井出草平	シノブスの巻頭特集「不登校」とその後	『現代用語の基礎知識2010』
2009.12	井出草平	ひきこもり大学生100人に1人	産経新聞
2009.12	井出草平	大阪府モデル事業 ひきこもり支援員新設	産経新聞